

人をつなぐ街を創る

－世田谷区の実践事例－



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり 常務理事 小柴 直樹

プロフィール

小柴 直樹（こしば なおき）1961年東京都生まれ。
一般財団法人世田谷トラストまちづくり 常務理事。
1987年世田谷区入所・2023年世田谷区退職。（36年間勤務）
太子堂、大蔵、下北沢、明大前、下高井戸などの街づくりを担当。
著書『人をつなぐ街を創る』（花伝社）にて、
「誰も置き去りにしない街づくりの心得」を提唱、
自らの造語「行政参加」に力を入れた街づくりの普及活動中。
一級建築士・建築主事・宅地建物取引士。



人をつなぐ街を創る

I 部 街づくり先進都市・世田谷

第1章 世田谷区という街づくりの舞台

第2章 世田谷区における街づくりの発端

第3章 世田谷区街づくり条例の歩み

第4章 街づくりが抱える課題の解決

II 部 事例から見る街づくりへの新たな試み

第5章 密集市街地の防災街づくり—太子堂2・3丁目地区

第6章 小田急線上部利用の街づくり—下北沢駅周辺地区

第7章 京王線沿線の街づくり—明大前駅周辺地区・下高井戸駅周辺地区

第8章 都市計画道路沿道の街づくり

—補助216号線・補助52号線・放射23号線

III 部 合意形成のために

第9章 住民参加の街づくりの歩みと未来

第10章 街づくりの推進に期待すること

第11章 信頼関係の構築と合意形成

第12章 誰も置き去りにしない街づくりの心得



世田谷区街づくり条例の制定・改正

社会動向

街づくり条例の動向

1975 区長公選制実施

1980 地区計画制度創設

1992 都市マスタープラン

1994 行政手続法施行

2000 地区計画素案申出

2002 都市計画提案

1982 街づくり条例制定
(地区計画策定手続き規定)

1995 街づくり条例改正
(地区街づくり計画届出規定)

2010 街づくり条例改正
(地区計画素案申出規定)
(区民街づくり協定創設)

世田谷区街づくり条例

第1章 総則

基本理念／区・住民・事業者の責務

第2章 街づくりに関する方針等の策定

都市整備方針等の策定（都市計画マスタープラン）

地区街づくり計画の策定（原案の提案・策定手続）

地区計画等の案の作成（案の作成手続・素案の申出）

街づくり誘導指針の策定

第3章 街づくりの推進等

街づくり誘導地区／街づくり推進地区

第4章 良好な建築構想の誘導

建築構想の調整等

第5章 街づくりの支援

区民街づくり協定／街づくり活動の支援

世田谷区街づくり条例



世田谷の街づくり条例



～快適な街に住み続けるために～

平成 30 年 3 月

世田谷区都市整備政策部都市計画課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4 丁目 21 番 27 号

TEL 03-5432-2455

FAX 03-5432-3023

広報印刷物登録番号 No1578

世田谷の街づくり条例

■ 快適な街に
住み続けるために ■

世田谷区



世田谷区街づくり条例

第1章 世田谷区における街づくり

第2章「身近な街づくり」実践ガイド

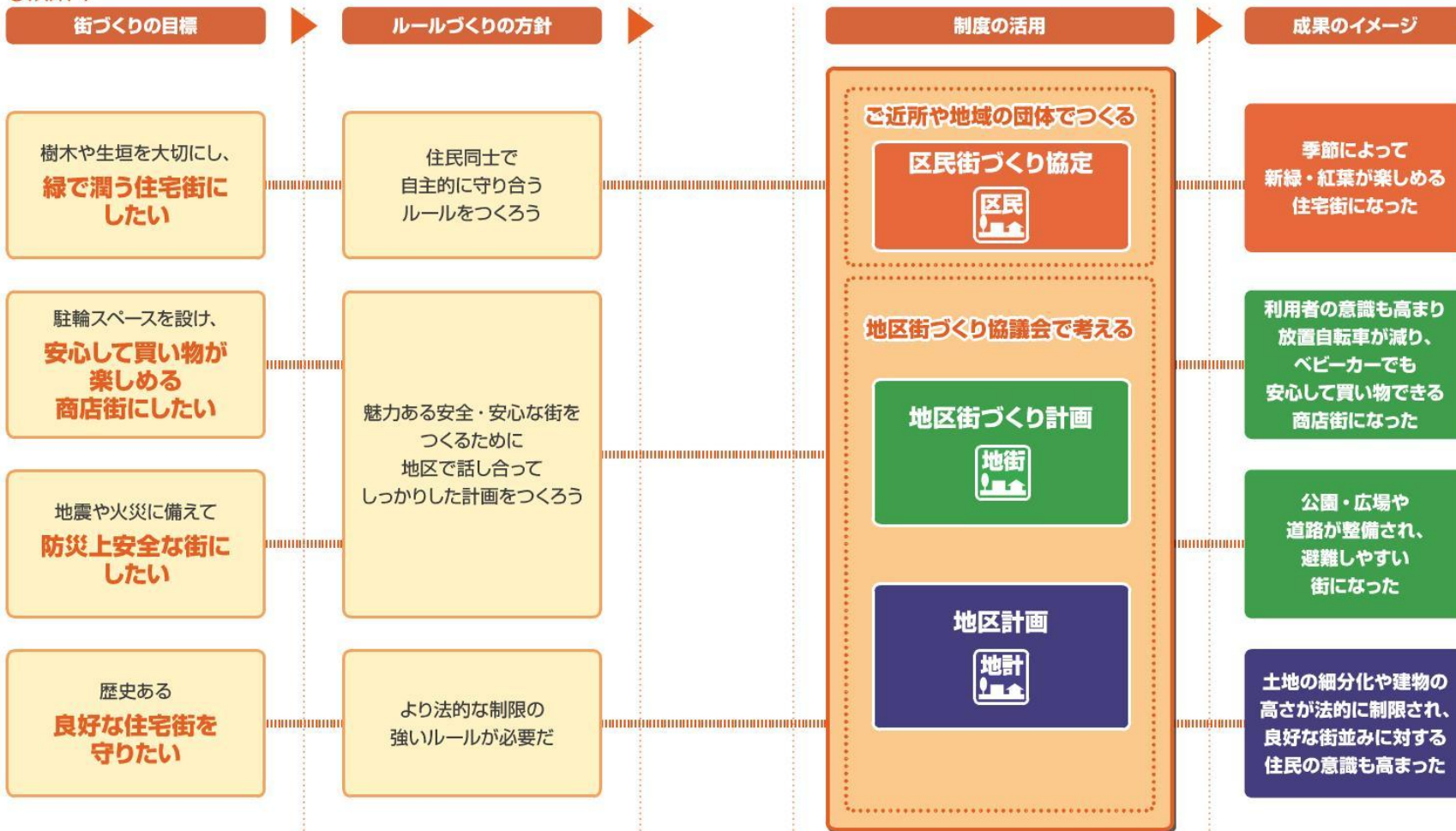
【街づくり入門】

1 「身近な街づくり」の手順

身近な街づくりの方法は、様々です。目標に合わせて方針を定め、適した制度を活用することが大切です。

世田谷区街づくり条例により
定めていること

START !



小田急線上部利用の街づくり

下北沢駅周辺地区の街づくりの変遷

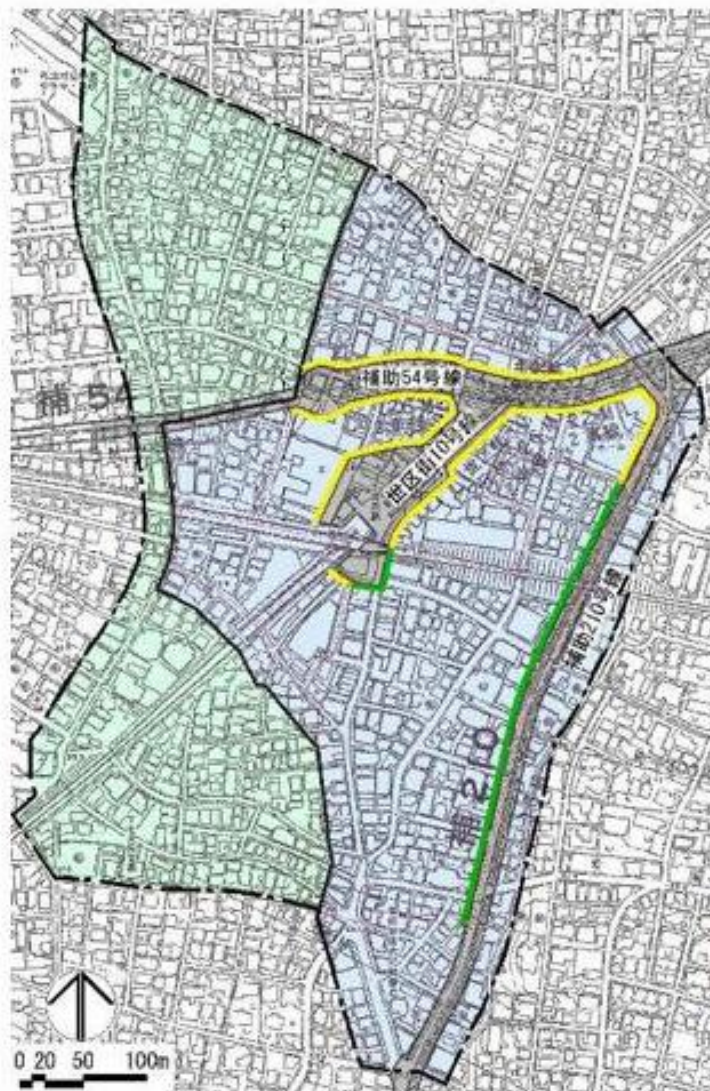
- 1946 都市計画道路補助線街路第54号線 計画決定
- 1964 都市高速鉄道第9号線（小田急線） 計画決定
- 2003 小田急線構造形式（地下化） 変更決定
世田谷区画街路第10号線（駅前広場） 計画決定
- 2006 下北沢駅周辺地区地区計画 決定
小田急線連続立体交差事業・駅前広場 事業認可
- 2014 世田谷区小田急線上部利用計画 策定
北沢デザイン会議 開始（現在10回）
- 2015 北沢デザインガイド 発行
- 2016 北沢PR戦略会議 開始
- 2019 小田急線連続立体交差事業 完了

小田急線連続立体交差事業



下北沢駅周辺地区 道路計画

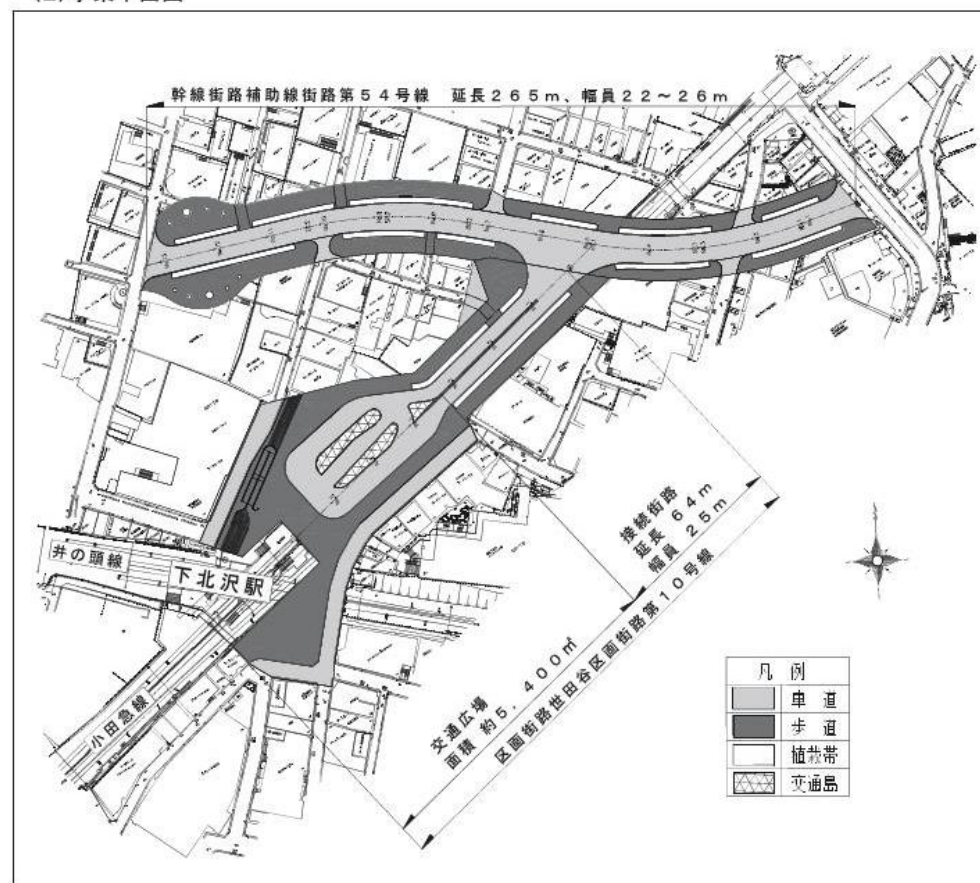
補助線街路第54号線・世田谷区画街路第10号線（駅前広場）



(1) 都市計画道路事業の認可

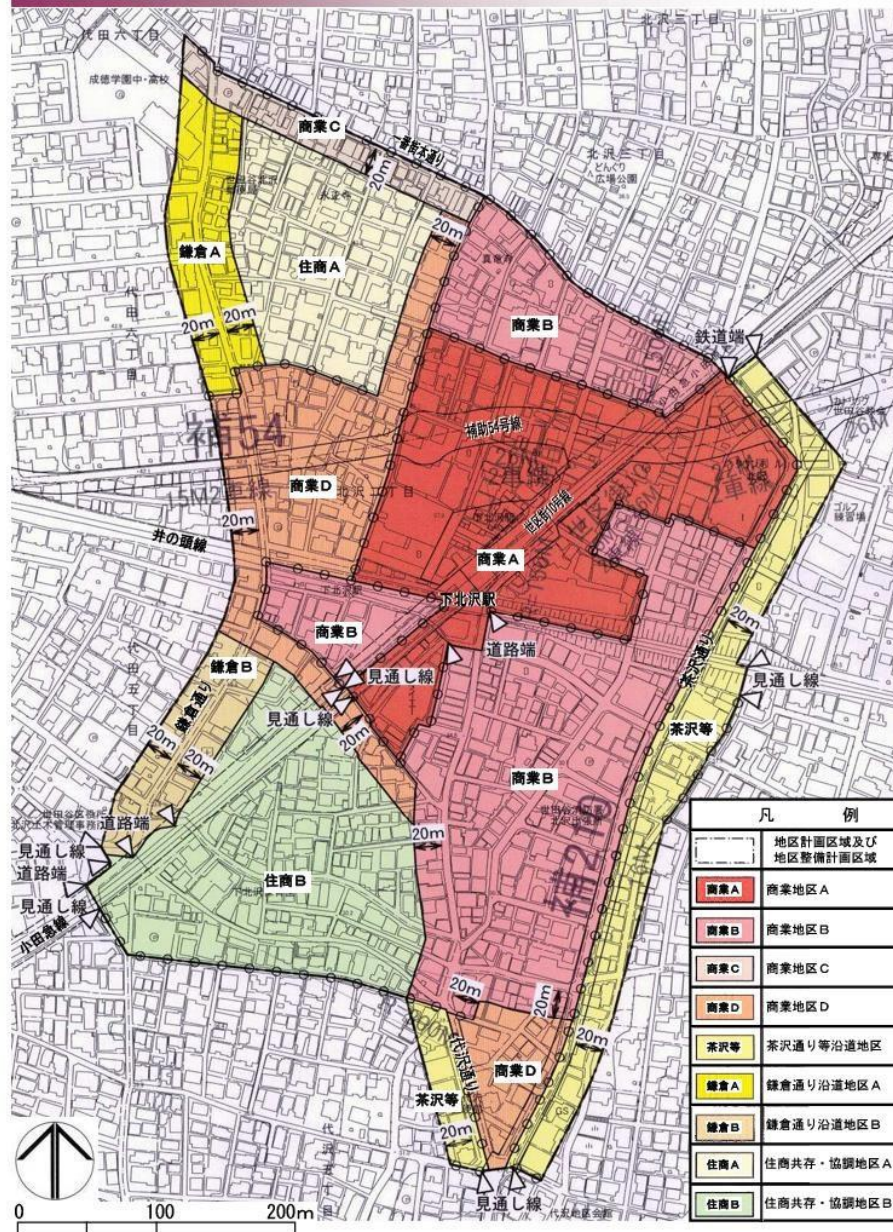
- ・事業の名称 : 幹線街路補助線街路第54号線及び区画街路世田谷区画街路第10号線
- ・事業認可日 : (当初)平成18年10月18日 東京都告示第1437号
(変更)平成27年3月17日 東京都告示第419号
- ・事業施行期間 : 平成18年10月18日から平成34年3月31日まで

(2) 事業平面図

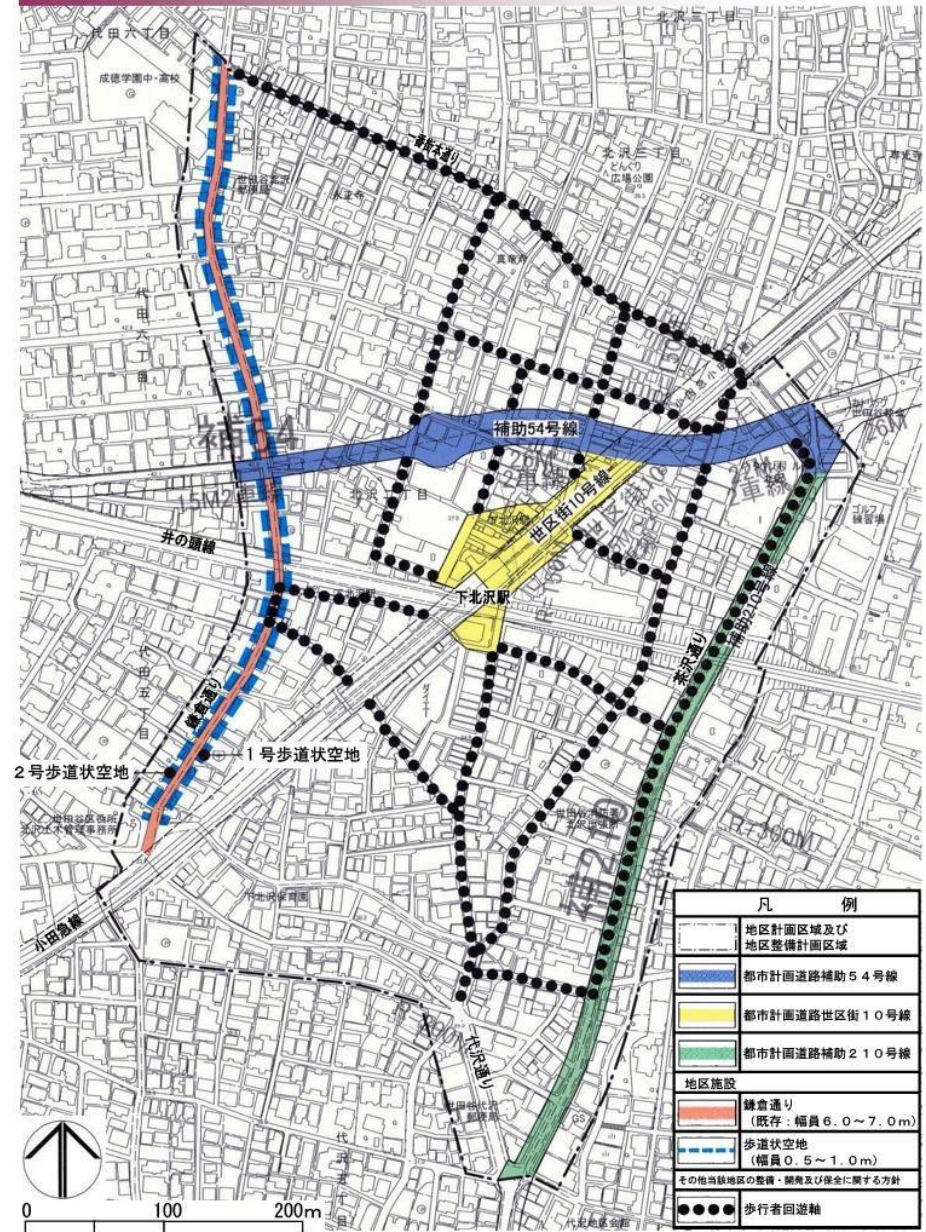


下北沢駅周辺地区地区計画

《計画図1》 -地区区分-



《計画図2》 -地区施設・歩行者回遊軸等-



下北沢駅周辺地区地区計画

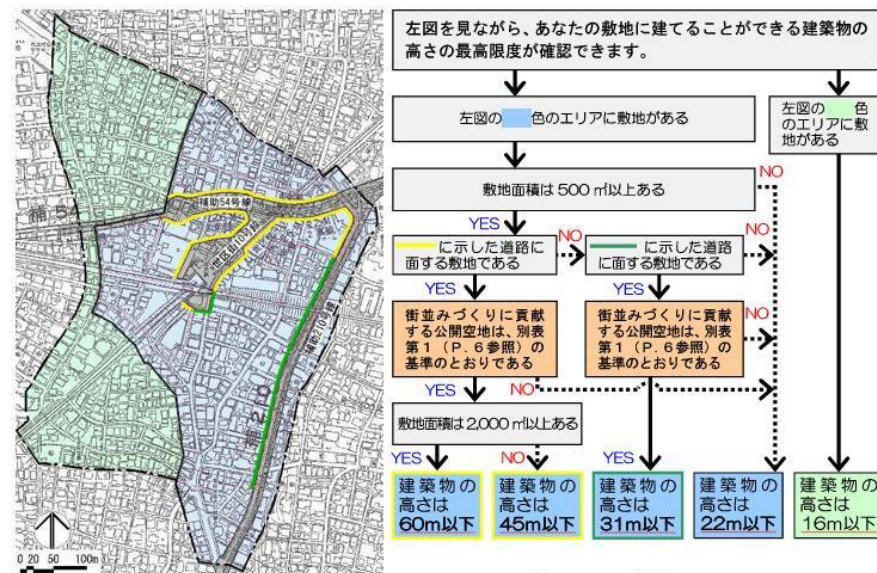
建築物等に関する事項

※ここに掲載する内容は、計画書を抜粋、要約したものです。

地区の区分		建築物等の用途の制限 (建築してはならない建築物を示す)	建築物の容積率の最高限度	建築物の敷地面積の最低限度	建築物等の高さの最高限度
名称	面積	P.11 QA3	P.12 QA5・6	P.12 QA7	P.13 QA8・9
商業地区A	約4.8ha	(1) 補助54号線、世区街10号線又は、計画図2(P.9参照)に表示する歩行者回遊軸(以下「道路等」という。)に面する建築物で、面する部分を住宅、共同住宅、寄宿舍、下宿及びこれらに付属する自動車庫の用途に供するもの(以下「住宅等」という。)。ただし、次に定めるものはこの限りでない。 ① 2階以上の階及び地階でその天井が地盤面下にあるもの ② 住宅等の出入り口 ③ 路地状部分のみによって道路等に接する敷地(路地状敷地)で、道路等の境界線からの距離が、路地状部分の最小幅の2倍以上の位置に建築物の外壁又はこれに代わる柱等を有するもの (2) 法別表第二(ハ)項第五号の倉庫業を営む倉庫 (3) 個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類する法施行令第130条の9の2で定めるもの	1 次の各号に示す敷地における容積率の最高限度は、各号に示す数値若しくは式により算出されるもの、又は指定容積率のうちいずれか小さい方の数値とする。 (1) 1号壁面線が定められている敷地： $8 \times 6 / 10$ (2) 2号壁面線が定められている敷地： $(W+1) \times 6 / 10$ (3) 3号壁面線が定められている敷地： $50 / 10$ (4) 壁面線が定められていない敷地： $W \times 6 / 10$ (W：建築基準法上の道路幅員m) 2 前項各号に該当する敷地のうち、壁面線の定められた辺を2以上有する敷地については、前項各号で算出された数値に2／10を加算した数値、又は指定容積率のうちいずれか小さい方の数値とする。	1 40㎡ 2 地区計画の決定告示日において、前項の面積を下回るものはこの限りでない(以下「下回った場合の規定」という。) 3 地区計画の決定告示日以降において、公共事業の施行等による敷地面積の減少により、第1項の面積を下回るものはこの限りでない。ただし、事業の施行等以前に第1項の規定に違反していた場合は除く(以下「公共事業に係わる規定」という。)	(1) 22m (2) 補助54号線、世区街10号線又は補助210号線に面する敷地に建築する建築物で、別表第1(P.6参照)の要件に適合するものは4.5mあるいは、6.0mとする。
	商業地区B	約7.0ha			(1) 22m (2) 世区街10号線又は補助210号線に面する敷地に建築する建築物で、別表第1(P.6参照)の要件に適合するものは3.1mとする。
商業地区C	約0.6ha	(1) 補助54号線、世区街10号線又は、計画図2(P.9参照)に表示する歩行者回遊軸(以下「道路等」という。)に面する建築物で、面する部分を住宅、共同住宅、寄宿舍、下宿及びこれらに付属する自動車庫の用途に供するもの(以下「住宅等」という。)。ただし、次に定めるものはこの限りでない。 ① 2階以上の階及び地階でその天井が地盤面下にあるもの ② 住宅等の出入り口 ③ 路地状部分のみによって道路等に接する敷地(路地状敷地)で、道路等の境界線からの距離が、路地状部分の最小幅の2倍以上の位置に建築物の外壁又はこれに代わる柱等を有するもの (2) 法別表第二(ハ)項第五号の倉庫業を営む倉庫 (3) 個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類する法施行令第130条の9の2で定めるもの (4) 1住戸の専有面積が18㎡未満のものを有するもの (5) 法別表第二(三)項第二号のマージャン屋、ぱんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類するもの (6) 法別表第二(ニ)項第四号のホテル又は旅館			16m
	商業地区D	約3.1ha			(1) 16m(鎌倉通りの中心以西又は補助54号線の中心以北の区域。) (2) 2.2m((1)以外の区域。)

Q8 建築敷地に、どれくらいの高さの建物を作ることができるか教えてください。

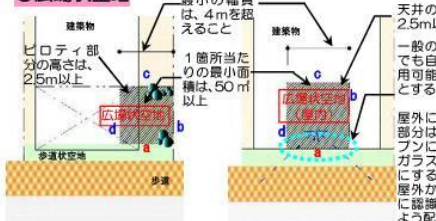
A8 ◇下のフローに沿って進めると、高さの最高限度、敷地や建て方の条件が確認できます。



Q9 公開空地について教えてください。

A9 ◇3種類の公開空地を定めています。(公開空地の要件についてはP.6別表第1に示しています。)

◎広場状空地



◎貫通通路



他の公開空地や道路等と接する a の長さは、全周長の6分の1以上とする

$$a \geq \frac{a+b+c+d}{6}$$

屋内に設けることも出来ます

小田急線上部利用計画



小田急線 上部利用 通信 No.9

平成25年11月
発行:世田谷区生活拠点整備担当部拠点整備第一課

世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)連続
立体交差事業および複々線化事業による鉄道地下化に
伴い生じる線路跡地の利用(以下、「上部利用」
という)について検討を進めています。
『小田急線上部利用通信』で
上部利用に関わる情報を
お知らせしていきます。

代々木上原駅

東北沢駅

下北沢駅

世田谷区

生活拠点整備担当部 拠点整備第一課

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

電話: 03-5432-2624 FAX: 03-5432-3107

ホームページアドレス (<http://www.city.setagaya.lg.jp/>)

【お問い合わせ先】

梅ヶ丘駅

世田谷代田駅



小田急線上部利用の施設配置(ゾーニング構想)がまとまりました。

世田谷区では、平成23年2月にまとめた小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画(世田谷
区案)について、同年3月11日の東日本大震災の発生を受け、地域防災等の視点から追加・修正を進めて
きました。

東京都、小田急電鉄との協議・調整をふまえ、このほど、小田急線上部利用の施設配置(ゾーニング構想)
がまとまりましたので、お知らせします。

※本通信では、小田急電鉄の土地利用も含んだ「施設配置図」と「イメージ図」について掲載しています。



区の上部利用のコンセプト



コンセプト図



『防災、みどりの基軸づくり』をコンセ
プトとして、防災・減災の機能を備え、
地域のみどりの基軸となる人間優先の空
間づくりを図ります。また、下北沢駅を
中心とした、にぎわいのある安全で安心
して移動できる快適な歩行者空間や、ま
ちに新たな魅力を創出していくことを目
指します。



※本通信掲載の写真やイラストは、整備イメージを表したものであり、実態とは異なります。



上部等に整備する施設

① 駅前広場

街の玄関となる駅前広場には、交通結節機能のほか、防災や環境にも配慮した生活拠点に相応しい機能を確
保します。道路や駅舎等の鉄道施設との連続性に加え、周辺隣接地との関係なども十分に考慮して整備してい
きます。また、お祭りやイベント等に活用できるようにするとともに、災害時に備え、防火水槽等を設置します。

- ▶下北沢駅 面積約 7,200 m²
(内交通広場面積 約 5,400 m²)
- ▶東北沢駅 面積約 1,700 m²
- ▶世田谷代田駅 面積約 1,700 m²



交通結節機能を
備えた駅前広場



防災機能を
備えた駅前広場



にぎわいの機能を
備えた駅前広場

② 通路

平常時には、歩行者・自転車等が利用する安全で快適な通路とします。災害発生時には緊急車両の通行
が可能なものとし、防災活動に活用します。

整備にあたっては、道路との交差部では歩行者等が安全に横断できる対策を施し、通行の安全性を確保し
つつ、積極的にみどりを配置して、住環境の保全・にぎわいの創出に努めます。

また、通路の連続性を生み出すために、環状七号線に歩行者および自転車専用の横断橋を整備します。



歩行者・自転車等が
通行する通路



災害時に緊急車両が
通行できる通路



上部の各施設を
つなぐ通路



環状七号線横断橋

③ 緑地・小広場・立体緑地

上部利用の区域の周辺は建物が密集し、みどりが少な
い地域になっています。そこで、通路に加え、上部利用の
区域や上部利用の区域に接する場所に緑地や小広場を
整備します。

整備にあたっては、区民参加で計画づくりを進めます。
さらに、みどりの維持管理についても、行政だけでなく区
民、NPO等とのパートナーシップによる取り組みを
目指していきます。また、自転車等駐車場の上部を活用し
た立体的な緑地や小広場についても検討します。



潤いを与える施設



立体緑地・小広場

④ 自転車等駐車場

自転車等駐車場は、「世田谷区自転車等の利用に関する総合計画(平成23年4
月)」に基づき検討するとともに、下北沢駅周辺では、小田急線の地下化等に伴い、
更なる街の発展が見込まれることから、必要な駐輪台数の精査・再検証を進めま
す。

なお、小田急電鉄では、施設配置図に示す自転車等駐車場を整備します。



自転車等駐車場

整備状況

北沢タウンホールから新宿方面展望



北沢デザイン会議

8/26 北沢デザイン会議

～小田急線沿線の街の未来を考える～

東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅の各駅周辺では、小田急小田原線の連続立体交差化により街が大きく変わろうとしています。

昨年3月に小田急小田原線の上記3駅の区間が地下化されるとともに、11月には上部利用の施設配置（ゾーニング構想）の計画がまとまりました。3駅の周辺では連続立体交差事業の完了を見据えて、街づくりの一層の推進が求められています。

これから区が線路跡地に整備する通路、緑地・小広場のあり方や、広く周辺の街づくりを考えるために、多くの方々が描く街の未来を語り合う場をご用意しました。みなさんの思いをこれからの街づくりにつなげていきましょう。

プログラム（予定）

第1部 街づくりの経過と今後のスケジュール紹介

第2部 発表会

テーマ「これからの街づくりへの思い」

■発表者

- 市川 美恵子 氏（東北沢自治会 会長）
 柏 雅康 氏（しもきた商店街振興組合 理事長）
 斎田 佳子 氏（世田谷代田 SAP 代表）
 高橋 ユリカ 氏（NPO グリーンライン下北沢 代表）
 西山 友則 氏（I LOVE 下北沢 カンパニー本部 下北沢事業部長）
 松田 妙子 氏（NPO せたがや子育てネット 代表理事）

◇コメンテーター 保坂 展人（世田谷区長）

第3部 意見交換

■司会進行

鈴木 立也 氏（街づくり専門家）

■ファシリテーター

奥村 玄 氏（街づくり専門家）

北沢タウンホールご案内



ひととき保育をご希望の方

受付期間：7月25日(金)～8月18日(月)

受付先：せたがやコール

受付時間：8:00～21:00

電話：03-5432-3333

ファックス：03-5432-3100

要予約
人数制限
あり

入場無料

申込不要

先着
200名

手話通訳
あり

平成26年 **8月26日(火)** 18時30分～21時00分（開場18時00分）

北沢タウンホール（2階ホール） 世田谷区北沢2-8-18

※会場のスペースの都合から、ご入場いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。

【主催】世田谷区

【問い合わせ先】北沢総合支所街づくり課 電話：03-5478-8031 ファックス：03-5478-8019

第10回 北沢デザイン会議

～小田急線沿線の街の未来を考える～



令和6年 **3月2日(土)** 13:00～15:00

会場：北沢タウンホール2階ホール（北沢2-8-18）

事前申込制

会場（先着100名）

オンライン（先着200名）

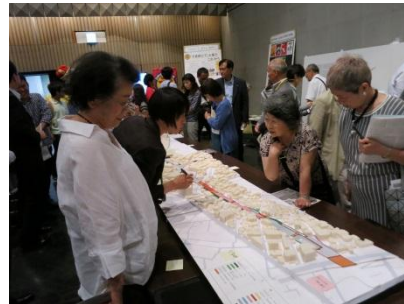
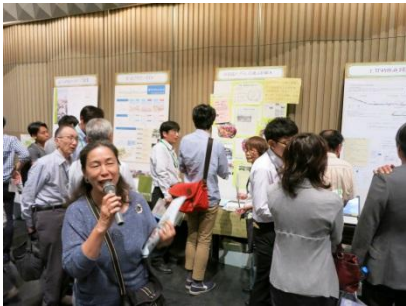
世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の上部を利用し、駅前広場、通路、緑地・小広場、防災施設など、公共施設の整備を進めています。

「北沢デザイン会議」は、小田急線沿線の街の未来を考える場、どなたでも自由に参加できる情報共有や意見交換の場です。

これまでの街づくりの経過をご報告するとともに、今後の取り組みをご案内するため、「第10回北沢デザイン会議」を開催します。ぜひご参加ください。

北沢デザイン会議

情報提供・意見交換



北沢デザイン

小田急線と京浜東北線が通る。このあたりは、かつては「小田急線沿線の風景」として知られていた。現在は、小田急線沿線の風景として知られている。

[illegible]

1990-1991

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回 第17回 第18回 第19回 第20回 第21回 第22回 第23回 第24回 第25回 第26回 第27回 第28回 第29回 第30回 第31回 第32回 第33回 第34回 第35回 第36回 第37回 第38回 第39回 第40回 第41回 第42回 第43回 第44回 第45回 第46回 第47回 第48回 第49回 第50回 第51回 第52回 第53回 第54回 第55回 第56回 第57回 第58回 第59回 第60回 第61回 第62回 第63回 第64回 第65回 第66回 第67回 第68回 第69回 第70回 第71回 第72回 第73回 第74回 第75回 第76回 第77回 第78回 第79回 第80回 第81回 第82回 第83回 第84回 第85回 第86回 第87回 第88回 第89回 第90回 第91回 第92回 第93回 第94回 第95回 第96回 第97回 第98回 第99回 第100回

● 2010年10月10日（星期六）

【例 1】某企业 2013 年 12 月 31 日结账前有关账户的余额如下：

第 100 号

100

北沢デザイン通信 第4号

～繋いづなぐる、人づなぐる、垂つなぐる～

小国急線上部利用施設に関する区の取り組みについてご報告します

[illegible]

今更想轉上圖利用功欲引能入諸經

2011年度 新卒採用活動

新卒採用活動の計画

新卒採用活動の実施

新卒採用活動の評価

新卒採用活動の振り返り

7/1 (Sun)

<p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p>	<p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p> <p>● 陳永發與「左翼」運動的歷史、批判</p>
---	---



北沢デザイン通信 号外

下北沢駅

ワークショップの目的

北沢デザイン通信

お知らせ
「北沢デザインガイド」素案
アンケートにご協力ください

「北沢デザインガイド」とは？

「インガイド」とは？

[illegible]

「トフヘン」

北沢デザイン通信 第5号

～思いつながら、人つながる、街つながる～

平成31年(2019年)4月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課

小田急線上部利用施設に関する区の取り組み等についてご報告します

世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。本号では、平成30年度に行った第5回、第6回の「北沢デザイン会議」と、区が整備する小田急線上部利用施設に関する取り組みなどの情報についてご報告します。

小田急線上部利用の取り組みの経緯

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
計画		小田急線上部利用の施設配置(ゾーニング構想)公表	小田急線上部利用計画(素案)公表	小田急線上部利用計画策定 →1 北沢デザインガイド策定 →2			
整備			「代田富士見橋」	「代田富士356(みごろ)広場」	「北沢さんきゅう広場」 通路整備(環状七号線以西)	東北沢駅前広場整備中 世田谷代田駅前広場整備中 下北沢駅西側エリア整備中 通路整備(下北沢駅～東北沢駅間)	
区民参加ワークショップ	世田谷代田駅前広場ワークショップ →3 東北沢駅前広場ワークショップ →4		下北沢駅周辺都市計画道路(補助54号線及び世田谷10号線)整備ワークショップ 上部利用デザインワークショップ →5 「代田富士356(みごろ)広場」整備ワークショップ →6 「北沢さんきゅう広場」整備ワークショップ →7 下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップ →8				
北沢PR戦略会議			第1回北沢デザイン会議 第2回北沢デザイン会議	第3回北沢デザイン会議	第4回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第1回報告会	第5回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第2回報告会	第6回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第3回報告会 →9

【関連発行物】

- 1 小田急線上部利用通信 No.11
- 2 北沢デザインガイド
- 3 世田谷代田駅周辺まちづくりニュース No.7
- 4 東北沢駅周辺まちづくりニュース No.4
- 5 下北沢駅周辺都市計画道路 WS ニュース第7号
- 6 (仮称) 代田3-5 6広場整備ニュース第4号
- 7 (仮称) 北沢3-9広場整備ニュース第4号
- 8 北沢デザイン通信号外(平成28年3月)
- 9 北沢PR戦略会議かわら版第5号



経過報告及び今後の取り組み

世田谷代田駅から東北沢駅までの、上部利用施設の情報などを報告しました。



「北沢デザイン会議」とは小田急線沿線の街づくりに関する取り組みを報告しています。情報共有、意見交換の場です。世田谷区が開催しています。



意見交換(ボードセッション)

当日は、上部利用施設の詳細をボードや模型などでご紹介し、担当者が一人ひとりのご質問に答えました。



北沢デザイン通信

第8号

～思いつながる、人つながる、街つながる～

令和4年8月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課

シモキタリングまちづくり会議(旧 北沢PR戦略会議)の活動について

名称が
変わりました

シモキタリングまちづくり会議とは

小田急線上部に整備する各施設の活用や周辺部を含む「まちの魅力」を高める取り組みを検討し、実践する場として、平成28年から開催しており、現在8つの部会を中心に活動しています。

令和4年3月には、これまで5年間の活動を踏まえ、住民参加と地域住民の自主的な活動をより深化させ、地元の町会や商店街などと連携を深める趣旨で、「北沢PR戦略会議」から「シモキタリングまちづくり会議」へ名称を変更しました。



▲今後、リーフレットなどを通して、
名称変更や活動内容を
幅広くお知らせしていきます。

トピックス① 第5回 報告会が開かれました。

令和4年3月21日(月・祝)にシモキタリングまちづくり会議第5回報告会が開かれました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、小田急線跡地の屋外で開催され、パネルなどにより各部会の活動や名称変更について報告されました。



報告会の様子

トピックス② 下北沢まちの案内所を移設しました。



移設後の案内所の様子

令和4年6月に下北沢駅前の「下北沢まちの案内所」を、駅前広場の工事に伴い、しもきたスクエア内から小田急線東口改札前に移設しました。

引き続き、案内部会のメンバー、ボランティアの方々により小田急線上部利用の街づくりの取り組みの周知や、まち案内を行っています。

移設工事の様子(クレーンで吊り上げました。)



区ホームページ・問い合わせ先

「02経還報告及び今後の取り組み」及び「03地域によるまちの活用の事例紹介」等の当口資料及び、「05意見交換」の詳細は下の2次元コードからご覧いただけます。



世田谷区公式チャンネル
(YouTube)で、小田急線上部利用施設の紹介動画を
ご覧いただけます。

世田谷区のホームページでも
小田急線上部利用の情報を公開しています。

世田谷区 小田急線上部利用の街づくり 検索

問い合わせ先

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18
北沢タウンホール 11階

【本通信及び北沢デザイン会議について】
北沢総合支所街づくり課
TEL 03-5478-8031 FAX 03-5478-8019

【小田急線上部利用施設等の整備について】
北沢総合支所拠点整備担当課
TEL 03-5478-8012 FAX 03-5478-8019

小田急線
上部利用施設に
関する取り組み等
についてご報告
します。



シモキタ雨庭広場
開園式の様子

KITAZAWA design

世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。

本号では、令和4年3月に行われた第8回北沢デザイン会議でお知らせした小田急線上部利用施設や京王井の頭線高架下利用施設に関する取り組み等のほか、加えて最新の情報をご報告します。



◀下北沢駅周辺から
世田谷代田駅方面を望む

「北沢デザインガイド」素案へのアンケート

■ アンケートの概要

項目	【1】素案全体について 【2】「デザインコード」について 【3】その他「上部利用施設」のデザインについて
期間	平成27年8月11日～8月28日
方法	「北沢デザイン通信」号外（平成27年8月）刷込みハガキ
件数	69通（ハガキ：66 ファクシミリ：3）



北沢デザイン通信 号外
（平成27年8月）

■ アンケートによる主なご意見と「北沢デザインガイド」への反映内容等

【1】素案全体についてのご意見等

- ・抽象的で具体的なイメージが湧かない。
- ・概ね評価できる。
- ・防災の視点を入れてほしい。
- ・一般的過ぎて個性に乏しい。

【修正点】

全体的にイラストや画像を見直し、具体的にイメージができるように改めました。

【2】「デザインコード」についてのご意見等

- ・抽象的で、意図が分かりにくい。
- ・概ね評価できる。
- ・完成予想図を示してほしい。
- ・多様な植栽を期待する。
- ・夜間も明るくしてほしい。
- ・デザインや機能を工夫してほしい。

【修正点】

各デザインコードのイラストや画像を見直すとともに、「植栽」に樹木の参考リストを加えるなど、コードの趣旨が具体的に伝わるよう修正しました。また、具体的なデザインイメージを追加しました。

【3】その他「上部利用施設」のデザインについてのご意見等

- ・下北沢の良さを反映してほしい。
- ・住民の意見を反映してほしい。
- ・安全や機能性に配慮してほしい。
- ・シンボルで洗練されたデザインにしてほしい。
- ・歩行者に配慮してほしい。

「防災、みどりの基軸づくり」であることを踏まえながら、地域の個性を生かし街の魅力を高める公共施設の整備を進めてまいります。

区施設の整備にあたっては、ワークショップの開催等、地域の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。

今後の進め方

今後は、「北沢デザインガイド」を指針として活用しながら、区施設の整備を進めてまいります。また、全体の進捗状況等については、情報共有と意見交換の場である「北沢デザイン会議」でご報告していきます。次回の「北沢デザイン会議（第3回）」は、11月7日（土）に開催します。

お問い合わせ先

〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27 世田谷区役所第1庁舎 4階
世田谷区都市整備部都市デザイン課
電話：03-5432-2054 ファクシミリ：03-5432-3023

北沢デザイン通信 号外

～思いつながる、人つながる、街つながる～

平成27年10月発行
世田谷区都市整備部都市デザイン課

お知らせ

「北沢デザインガイド」が完成しました。

Total Design Guide Book



世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の上部に区が整備する通路、広場等の公共施設のデザインに関する指針として、「北沢デザインガイド」の検討を進めてまいりました。

「北沢デザイン通信 号外（平成27年8月）」では、素案を公表するとともにアンケートを実施し、69件のご意見をお寄せいただきました。

このたび、いただいたご意見等を踏まえ素案の内容を修正し、「北沢デザインガイド」が完成いたしました。

本号では、主なご意見と反映した内容等を報告します。

◇素案からの主な修正内容 02 | 03 |

◇「北沢デザインガイド」素案へのアンケート 04 |

「北沢デザインガイド」とは？

小田急線の上部空間の整備や周辺の街づくりにあたって、地域の個性を生かしながら、秩序のある連続した空間づくりに役立てるためのデザインの指針として活用します。

「上部利用デザインワークショップ」により導き出された「デザインコンセプト」の理念に基づき区施設の整備におけるデザインの方針や具体的な方策を示すとともに、周辺施設に対して区施設とのデザインイメージの調整をお願いする際の区の指針としても活用します。

「デザインコンセプト」..... 目指すべき将来像を表現した3つのコンセプトと6つの視点

コンセプト1 『四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ』 自然を感じる空間 人々の集い

コンセプト2 『街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ』 街の記憶 街の風景

コンセプト3 『みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超え心をつなぐ』 空間の変化 市民の関わり

「北沢デザインガイド」の全編、およびアンケートによる意見一覧は、区のホームページから閲覧できます。

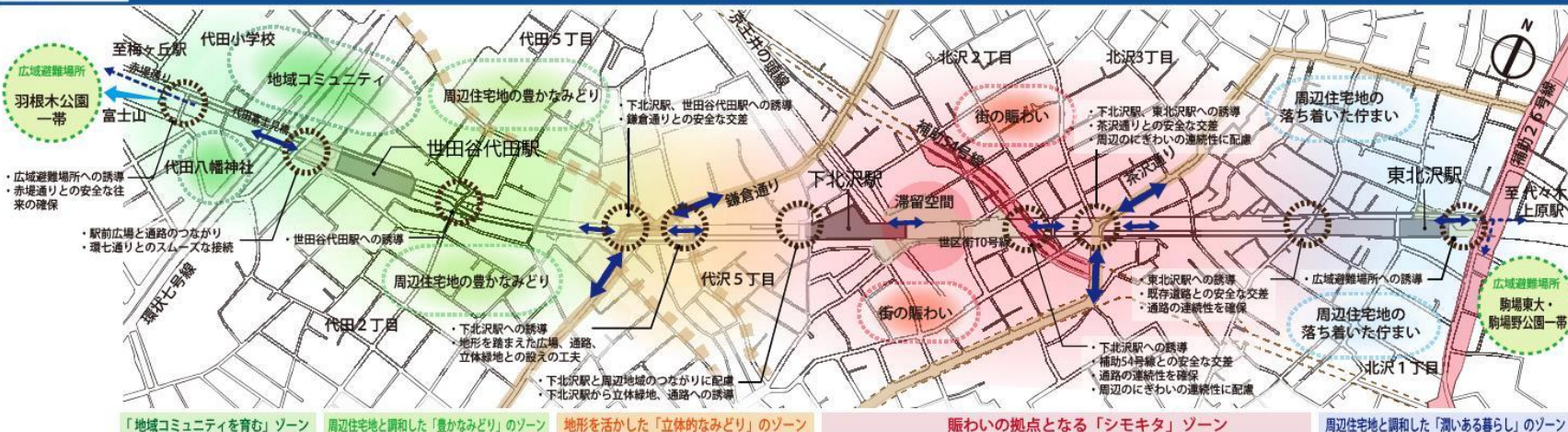
トップページ ▶▶ 暮らしのガイド ▶▶ 住まい・街づくり・交通 ▶▶ 都市デザイン ▶▶ 「北沢デザインガイド」

北沢デザイン通信

素案からの主な修正内容

- ポイント①** 上部利用区施設の整備にあたって **街の特徴を活かすための配慮事項** について、ゾーンごとに具体的な配慮の内容を書き加えました。
- ポイント②** **区施設のデザインコード** について、イメージが膨らむよう、わかりやすいイラストや画像を掲載するとともに、説明を具体的な表現に改めました。

ポイント① 街の特徴を活かすための配慮事項



ポイント② 区施設のデザインコード

※デザインコードは、施設整備における配置、素材、形状、色彩などのデザインを方向づけるためのルールです。

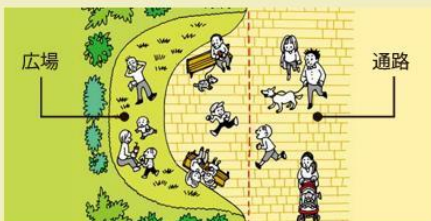
「植栽」

計画時の参考となるよう、植栽の参考リストを掲載しました。



「境界」

隣接する広場と通路を一体的に計画した事例イメージを掲載しました。



「ストリートファニチャー」

場所や機能に応じた事例写真を掲載しました。



「サイン・看板」

鉄道をモチーフにした事例写真を掲載しました。



「工作物など」

線路の記憶を組み込んだ事例写真を掲載しました。



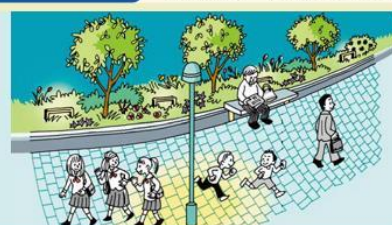
「地面」

地域の歴史や個性を組み込んだ広場の事例イメージを掲載しました。



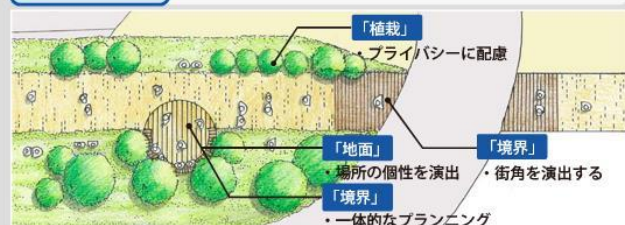
「照明」

設置場所や機能を踏まえた照明の事例イメージを掲載しました。



参考図

デザインコードを踏まえた具体的なイメージを掲載しました。



上部利用デザインワークショップ



第1章 北沢デザインガイドについて

1-5 北沢デザインガイドの全体構成

第1章

北沢デザインガイドについて

1-1 役割

- ・区施設の整備におけるデザインの方針や具体的方策
- ・周辺施設に対して区施設とのデザインの調整をお願いする際の区の指針

1-2 位置付け

- ・「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」における区施設全体のデザインに関する指針として策定

1-3 対象と活用

- ① 対象
「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づき区が整備する公共施設、現在施行中の都市計画道路補助 54 号線（下北沢 1 期）
- ② 活用
小田急線上部及び周辺地域の区民、事業者へ協力と調整のお願い

1-4 小田急線上部利用の施設配置

- ・「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づく施設等

1-5 全体構成

第2章

街の特徴

2-1 特徴を活かすための配慮事項

- ・地域特性に基づき5つのゾーンに分けて街の特徴を整理

2-2 公共空間のデザイン事例『世田谷デザインコレクション』

- ・魅力あふれる公共空間の紹介

第3章

デザインコンセプトとデザイン方針

3-1 デザインコンセプト

コンセプト 1

自然を感じる空間

人々の集い

『四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ』

コンセプト 2

街の記憶

街の風景

『街の記憶や風景を映し、3 駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ』

コンセプト 3

空間の変化

市民の関わり

『みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超え心をつなぐ』

3-2 デザイン方針

方針1

自然を感じる空間

- ・四季の彩りと変化に溢れ、自然が醸し出す潤いを感じられること
- ・1 年を通じて誰もが心地よく過ごせること

方針2

人々の集い

- ・ヒューマンスケールを尊重し、訪れる人々に安心感をもたらすこと
- ・賑わいと落ち着きを創出し、人々のふれあいを生み出すこと

方針3

街の記憶

- ・地層のように折り重なった周辺の街の歴史や記憶を取り込むこと
- ・多くの人々を運び続けている線路が敷かれていた思い出を残すこと

方針4

街の風景

- ・賑やかな街、落ち着いた街、それぞれの街並みや佇まいを映し込むこと
- ・3 つの地域を結ぶ「都市の中の回廊」により新たな街の風景を創り出すこと

方針5

空間の変化

- ・世代が変わっても魅力を失わず、時間をかけてゆっくりと変化していくこと
- ・人々の活動の積み重ねが地域の文化となり、それが形になって表れること

方針6

市民の関わり

- ・街を見守り育てる活動の場となり、暮らしたいを次の世代に伝えられること
- ・キラリと光る活動が場所に活力をもたらす、集まるみんなが主人公であること

第4章

区施設のデザインコード

4-1 組み立て

- ・空間を構成する7つの要素

4-2 構成

- ・6つの視点とデザイン方針との関係

4-3 詳細

「植栽」

- ・変化に富んだ植栽
- ・環境への配慮
- ・つながりを意識
- ・活動に結びつくみどり

「地面」

- ・人にやさしい舗装
- ・場所の個性を演出
- ・連続性を感じる素材・色
- ・時間の経過に対応する素材

「境界」

- ・エッジを和らげる
- ・一体的なプランニング
- ・街角を演出する

「照明」

- ・配光に考慮・工夫
- ・空間の演出
- ・つながりを表現
- ・季節感やイベントの演出

「ストリートファナー」

- ・多様な用途・複合的な用途
- ・線路や電車の記憶
- ・市民との協働

「サイン・看板」

- ・見え方への配慮
- ・地域の歴史や線路の記憶
- ・つながりを表現
- ・変化に対応するシステム

「工作物など」

- ・意匠に配慮（工作物）
- ・つながりを表現

第5章

「北沢デザインガイド」の運用

5-1 デザインの調整及び情報提供

5-2 維持管理における活用

5-3 「北沢デザインガイド」の更新

「北沢デザインガイド」の運用イメージ

北沢デザインガイド

「植栽」

変化に富んだ植栽

つながりを意識



「地面」

連続性を感じる素材・色

場所の個性を演出



「境界」

街角を演出する

一体的なプランニング

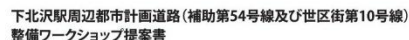


「照明」

「ストリートファニチャー」



下北沢駅



目 次	
提案にあたって ～ワークショップ参加者の想い～	1
検討の内容とスケジュール	2
魅力と課題まるごと下北沢マップ	3 4
私たちが道路・駅前広場空間でしたいこと、欲しいもの	5 6
私たちがめざす道路の基本方針	7 8
私たちがめざす道路整備の考え方	9 10
私たちがめざす道路整備イメージ ① (環町第54号線(西側))	11 12
私たちがめざす道路整備イメージ ② (環町第54号線(東側)及び世田谷第10号線(街路部分))	13 14
私たちがめざす道路整備イメージ ③ (世田谷第10号線(駅前広場))	15 16
お申し込みの申し込み	17 18



第7号

発行日：平成 28 年 3 月 18 日
発行元：世田谷区 道路整備部交通広場整備担当課 TEL:03-5432-


平成 26 年 11 月から約 1 年半にわたり、延べ 12 回開催してきました下北沢駅周辺都市計画道路（補助第 54 号線及び世区街第 10 号線）整備ワークショップは、今回をもちまして終了しました。



- ・道路整備後のイメージ映像の上映
- ・意見交換

『提案書』の内容は、世田谷区のホームページにて公開しています。

世田谷区 道路 ワークショップ

檢 索

駅前広場ワークショップ

東北沢駅



世田谷代田駅



世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

駅前広場の検討経緯と今後の予定

平成12年度
広場についてのアンケート調査

広場についてのアンケートや検討・調査をもとにし、駅前広場整備構想を作成しました。

平成13年度
駅前広場整備構想を策定

自主的に地域の様々な課題に取り組んでいる「SAP(※)」より、アンケートやワークショップを経てまとめられた整備提案2案が区に提出されました。

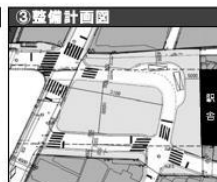
平成20年2月
区民提案

※正式名称は、「世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう！プロジェクト実行委員会」

平成22年3月
駅前広場整備計画を策定

平成24年9月
～平成25年1月
駅前広場
ワークショップ
を開催

①求められる機能



②基本条件

乗降客数	約8,600人/日
区域面積	約1,650㎡
交通施設数	小型車対応:2バス(うち、身障者対応1、一般車・タクシー等(降車)対応1)
交通施設配置の基本的な考え方	○駅前広場は、既存区道や小田急線用地の有効活用により区域設定する。 ○環状7号線方向などからアクセスする小型車対応の車回しを考慮し、小型車乗降場を配置する。
必要な施設	○緑化施設 ○防火貯水槽 ○雨水流出抑制施設

※バスとは、車両のための乗降場のことです。

平成24年度
基本設計

平成25年度以降
実施設計

整備工事

代田地域の街づくりを進めています。

駅周辺の整備に併せて、災害に強く、安心・安全に配慮した周辺の街づくりにも取り組んでおり、地域のみなさまのご意見をいただきながら検討を進めています。平成23年度には代田2・5丁目を対象にした3回の意見交換会を開催し、平成24年度は代田1～6丁目の全域を対象に地域の街づくりを進めるための基礎調査を実施しました。

その中間報告として、2月28日街づくり報告会でご報告した内容は、下記ホームページからご覧ください。

◆世田谷代田駅周辺街づくり報告会を開催しました

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00123558.html>



トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通
>街づくり>街づくり>北沢総合支所管内の街づくり
>世田谷代田駅前広場の整備

なお、調査した内容は、あらためて本年度に報告会を開催し、みなさまにお知らせする予定ですので、お待ちください。



世田谷
代田

駅周辺
まちづくりニュース

平成25年4月発行

No.7



世田谷区北沢総合支所街づくり課

世田谷代田駅駅前広場の ワークショップ整備案がまとまりました



世田谷区は、小田急線の連続立体交差事業及び複々線化事業に併せて、世田谷代田駅の駅前広場を道路として整備をします。平成21年度に策定した駅前広場整備計画を元に設置する施設(舗装・植栽・案内板等)のしつらえについて、周辺にお住まいの方や駅利用者にご参加いただいたワークショップで検討を行い、「世田谷代田駅前広場ワークショップ整備案」として取りまとめましたので、地域のみなさまにお知らせいたします。(次頁以降をご覧ください。)

世田谷代田駅周辺の街づくり報告会を開催しました...

平成25年2月28日(木)午後7時から、代田小学校ランチルームで世田谷代田駅周辺で行われている街づくりについて報告会を開催し、34名の方にご出席いただきました。

- 内容**
- ①代田地域の街づくりの取り組み(基礎調査における中間報告)
代田地域の地域特性を説明し、今後とも良好な住宅街として緑を守り、より災害に強い街を目指すために、この地域にも街づくりのルールを検討していく必要性があることを報告しました。⇒6頁
 - ②世田谷代田駅駅前広場の整備(駅前広場ワークショップ整備案について)
ワークショップで話し合いまとめた内容について報告しました。⇒2～4頁
 - ③環状七号線横断橋の整備
新たに整備する環状七号線の整備の概要を報告しました。⇒5頁



①最初に、地区街づくり基礎調査の中間報告を行いました。



②世田谷代田駅の「ワークショップ整備案」をみなさまに紹介しました。



③環状七号線横断橋の整備の概要を完成予想図などを使って説明しました。

問合せ・ご意見の提出先

世田谷区北沢総合支所街づくり課

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階
電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

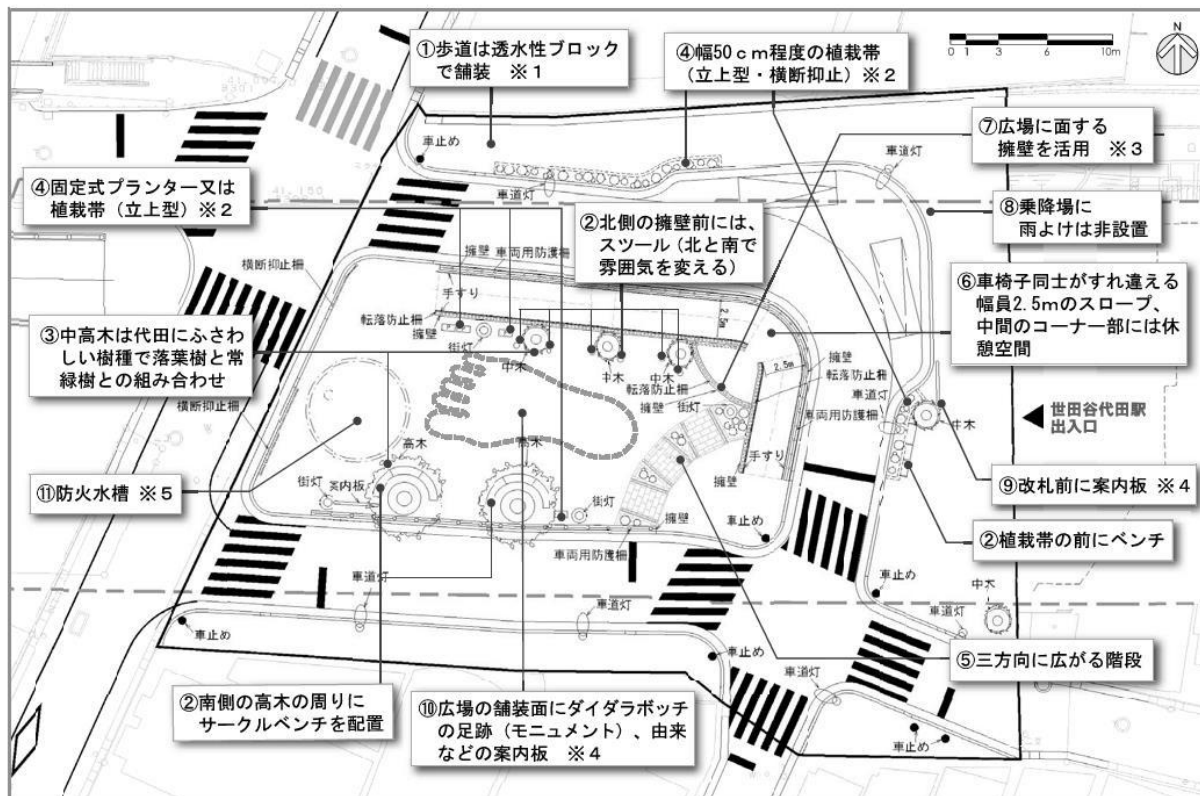
世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅駅前広場 ワークショップ整備案

全3回のワークショップ参加者の意見を取りまとめたこの整備案をふまえて、区では設計を進めています、今後実施設計を進める中で変更する場合があります。

整備コンセプト

おだやかな日常が歴史になるむら
～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～



今後の留意事項

- ※1 歩道の色は、上部利用計画との連続性を考慮 ①
- ※2 協定等により住民グループが維持管理する花壇を設置 ④
- ※3 広場内の壁面は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようシンプルに整備 ⑦
- ※4 案内板等については、関係機関と協議をして設置 ⑨、⑩
- ※5 防災施設等は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置 ⑪

施設・整備

ワークショップの参加者から頂いた 主なご意見

- ①舗装
 - 雨が浸透する路面の素材に（舗装）
 - 中広場の部分はゴムチップ等の舗装で子供が遊べるように
 - 世田谷代田の駅舎（ガラス張り、透明感）と合わせて、イメージカラーを考える
 - 歩道の舗装は、上部利用部の通路と色を合わせる（グラデーションなども）
- ②ベンチ
 - ベンチがほしいが、覆ったところがないような物に
 - ベンチの位置は、待ち合わせで駅近くと広場の中に
 - かまどベンチが良い
 - 広場の南と北側は雰囲気を変えてベンチを設置
- ③みどり
 - 高、中木をバランス良く、色々な種類をおりませる様に
 - 高木…落葉と常緑の両方が見たい、中木…常緑
 - △広場全体が木陰になるよう 常緑（シラカシなど）多めに
 - 世田谷代田の駅だけちょっと違う樹種でも良い
 - 地元で育った木を
- ④プランター・植栽帯
 - 低木の部分は花を植えられるようにしたらどうか
 - 地域の方が花を育てられる場所を作る
 - 花壇の管理はむずかしいのでは
 - 移動できるプランターとかは
 - 散水栓、スコップ置場があるといい
- ⑤階段
 - 階段で高低差を解消し、広場内はできるだけフラットに
 - △階段上をステージに
 - △富士山を見られるポイントがあれば、広場に高いところはいらないのでは
- ⑥スロープ
 - 階段にスロープがあると自転車をおくような物ではないが
 - スロープをもっと広くしてはどうか？真ん中の部分
 - △スロープの途中にたまりを そこここ、モニュメントを
- ⑦壁面
 - △たまりの立ち上がりの側面に何かできないか
 - △陶板など学校や地域で作ることのできるように
- ⑧乗降場（シェルター）
 - 車寄せには雨よけの庇を車椅子でも乗り降りしやすい
 - 富士山が見えるように！「広く」使える
- ⑨案内板
 - △案内板がほしい（デジタル時計付）壁高
 - 駅前と広場の入り口にほしい（地図など）
 - 乗る人と降りる人用
 - △案内板の中に時計（壁の低い物）
 - また、代田の由来なども入れたほうが良い
 - ダイダラボッチと富士山を紹介する案内板
- ⑩モニュメント
 - 世田谷代田のシンボリックなもの
 - モニュメントがほしい（代田の歴史）だいたらぼっち
 - 小田急線があったことを残すもの（線路の絵）
 - ダイダラボッチの足あと（舗装の色を替える）を広場に
 - とか（踏まれて地面が下がった（高低差）イメージ）
- ⑪防災施設
 - △マンホールトイレ、防火水槽は必要 工夫して設置を
 - △防災倉庫等は配置計画に応じて設置すればいい

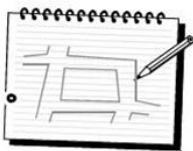
凡例

- ①～⑪：施設・設備の番号は、ワークショップ整備案の番号と対照しています。
- ：ワークショップ整備案に取り入れた考え方や反映できた意見
- △：ワークショップ整備案の一部に取り入れた考え方や反映できた意見
- ：その他（駅前広場の検討範囲外の意見、ワークショップ整備案では見送った意見等）

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅駅前広場の ワークショップ整備案がまとまりました。

駅前広場内に設置する施設（舗装・植栽・案内板等）のしつらえについて、駅周辺にお住まいの方や駅利用者のご意見を取り入れるため、全3回のワークショップを開催しました。ワークショップでは、駅前広場の使い方、雰囲気や代田の歴史から、みどり・眺望などについて、さまざまなご意見を頂き、検討を行った結果を「ワークショップ整備案」（右図）として取りまとめました。



駅前広場ワークショップでの検討経過

ワークショップ整備案（右図）

**第1回
「経緯を知る」**

平成24年9月30日（日）開催

駅前広場の検討の経緯と「駅前広場整備計画」を説明した後、駅前広場のしつらえについて3班のグループに分かれて、図面にふせんを貼りながら意見交換しました。

**第2回
「しつらえを考える」**

平成24年11月18日（日）開催

第1回目の意見を整理した内容を確認して、駅前広場に設置する施設として植栽・ベンチ等の配置や仕様について、模型を使ったデザインゲームで検討しました。

**第3回
「整備案をまとめる」**

平成25年1月20日（日）開催

第2回で頂いた意見から作成した整備検討案を確認して、掲示板・花壇・樹木等の配置や樹種などについて意見交換し、ワークショップ整備案として取りまとめました。

今後の予定

平成24年度
基本設計

平成25年度以降
実施設計

整備工事

進捗がありましたら、
皆様にお知らせして
いきます。



平成24年度は、このワークショップ整備案の内容をふまえて、基本設計を行いました。また、ワークショップ整備案の中で「今後の留意事項」とした内容について、今後関係機関との調整を行ってまいります。

現在のところ具体的な整備時期等は未定ですが、駅前広場の整備の内容や時期等に進捗がありましたら、今後とも機会を捉えて皆さまにお知らせをしていきます。

世田谷代田駅と東北沢駅の駅前広場ワークショップ整備案は、ホームページでご覧になれます。

今回、ご紹介している「世田谷代田駅前広場ワークショップ整備案」の全文は、区のホームページからご覧になれます。また、同時に東北沢駅についてもワークショップを開催し、「東北沢駅前広場ワークショップ整備案」を作成しました。こちらも、区のホームページからご覧になれます。



◆世田谷代田駅前広場 ワークショップ整備案
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/346/347/d001246882.html>

◆東北沢駅前広場 ワークショップ整備案
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/346/347/d001246883.html>

トップページ>くらしのガイド
>住まい・街づくり・交通
>街づくり>街づくり
>北沢・五反田駅周辺の街づくり
>世田谷代田駅前広場の整備
(又は>東北沢駅前広場の整備)



環状七号線横断橋の整備について

経緯

赤堤通りの環状七号線の横断部分には、宮上陸橋（車道）と代田歩道橋（北側歩行空間）がありますが、歩行空間である代田歩道橋に十分な幅員がなく、これまで地域の課題となっていました。

区は、環状七号線横断部において安全な歩行空間を確保するため、東京都・小田急電鉄の協力を得て、小田急線連続立体交差事業に合わせて環状七号線横断橋を架橋し、赤堤通りの南側の歩道として整備することとしました。

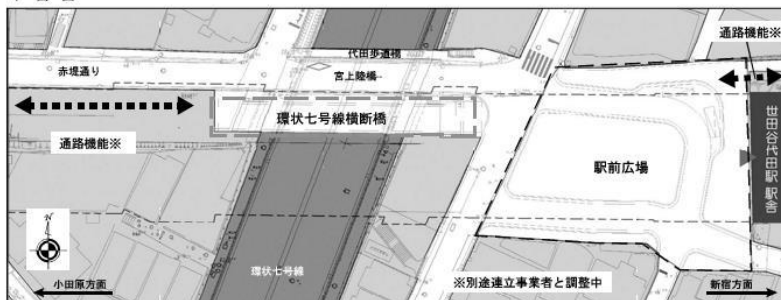


整備箇所の現在の状況



整備概要

平面図



- 横断橋の橋桁は、環状七号線の上空を横断し、橋桁を支える橋台は、地下の小田急線鉄道施設（トンネル）の上に設置します。
- 横断橋の整備にあたっては、東京都や小田急電鉄など関係機関と、安全で効率的な構造及び施工となるよう協議をしています。
- 平成25年度の環七横断橋本体工事の着手に向けて、現在、設計を進めております。

◆既存の宮上陸橋と代田歩道橋については、架け替えをせず維持修繕を行い、新設横断橋と合わせた3橋で環状七号線横断部の道路機能を確保していきます。

<横断橋の構造>

橋長	約43m
幅員	約5.8m（有効幅員5m）
用途	自転車及び歩行者専用
構造	上部構造形式：鋼床版箱桁 下部構造形式：逆T式

駅前広場 整備状況

東北沢駅



世田谷代田駅



広場整備ワークショップ（代田富士356広場）

整備後



開園セレモニー



4

広場整備ワークショップ（代田富士356広場）

第3回 ワークショップを開催しました！

7月25日(土)に代田小学校3階ランチルームにて第3回ワークショップを開催しました。

24名の方にご参加いただき「広場の整備計画をつくる」、「広場の管理や活動について考える」というテーマで意見交換を行いました。



・当日の様子

計画案の気になるところ、良いと思うところ、もっとこうの方が良いと思うところなどについて、たくさんのご意見をいただき、参加者全体で共有しました。

広場の整備計画案

作業エリア

現況のアスファルトを一部撤去し、低木や地被植物などで修景することにより、敷地を有効活用する。

見晴らしスペース

子どもが近くで電車を眺められるよう、見晴らし台を設置する。

周囲でできる園路

車椅子やベビーカーでも周囲でできる園路、土地の記憶を感じさせる線路をイメージした舗装にする。

草地広場

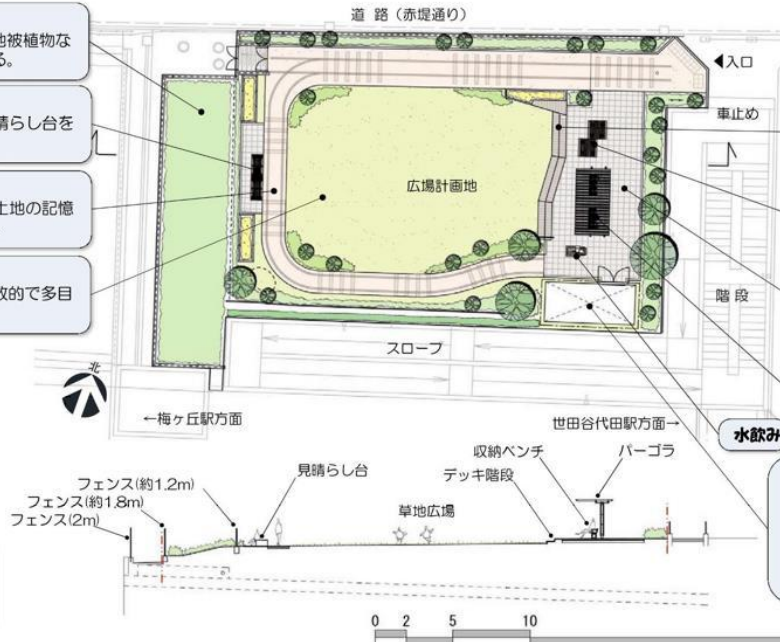
見通しを良くするため施設は設置せず、開放的で多目的に利用できる広場スペースとする。



・見晴らし台からの風景（イメージ）

写真撮影スポット・モニュメントのアイデア

風景や記念写真の撮影ができるスポットと、鉄道をイメージしたモニュメントについては、今後も検討します。



花だん、田んぼ

花だんや、田んぼを見晴らしスペースの脇と、草地広場の北側に設け、地域で管理し、活動場所としても利用できるようにする。

デッキ階段

デッキの上から景色を眺めやすいよう、草地広場と段差をつける。

縁台ベンチ

景色を眺めながら休憩等ができるよう、縁台ベンチを2基設置する。

管理車両用スペース

防災倉庫への搬入を行う管理車両が進入可能なスペースを確保する。

バーゴラと収納ベンチ

広場の入口につながる通路からの見晴らしに配慮した位置に、日陰で休めるバーゴラ、その下に収納ベンチを設置する。

防災倉庫

景観を出来るだけ阻害しない位置に設置する。また、植物を絡ませた緑化フェンスで防災倉庫の目隠しをする。
※防災倉庫は『広域用防災倉庫』として、避難所運営用倉庫の補完をするともに、広域避難場所が必要となる物品を備蓄し、区が管理します。

※整備計画案は一部変更する場合があります

ワークショップを通していただいたアイデアやご意見は広場整備に活用していきます。ご参加いただいた方々に感謝いたします。

広場整備ワークショップ（北沢さんきゅう広場）

整備後



ワークショップ



広場整備ワークショップ（北沢さんきゅう広場）

広場予定地の紹介・整備のスケジュール・広場の名称について

<広場予定地の紹介>



所在地：世田谷区北沢3-9

特徴：・閑静な住宅地に囲まれています。

・敷地の中ほどで高低差（約1.5m）のある段状の地形となっています。

・3つの三角形が連なった形状となっています。

現場風景



<整備のスケジュール>

平成27年度
10月

広場整備に関するアンケート
ニュース第1号にて実施

11月から2月

ワークショップ（全3回）
～広場のアイデアを出し合う～
～広場の整備計画をつくる～



・ワークショップの様子

平成28年度（予定）

広場整備工事

平成29年度（予定）

広場利用開始

3月下旬

ニュース第4号

今回のニュースです

<広場の名称について>

第3回ワークショップにて、広場の名称のアイデアをアンケートの形でご回答いただきました。「東北沢」の駅名や「3-9」という住居表示、敷地の形状（三角形）を取り入れたものなどがあげられました。アンケートでいただいた広場の名称のアイデアをご紹介します。

- ・東北沢の森
- ・ヒガキタ広場
- ・きたざわのにわ
- ・サン（3）カク（9）広場
- ・39公園

今後、いただいたアイデアをふまえ、地元町会と相談しながら、名称を決めていきます。

広場のニュースとアンケートの結果は、世田谷区公式ホームページからご覧になれます。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/index.html>

トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通>街づくり

>街づくり>北沢総合支所管内の街づくり>小田急線上部利用の街づくり

（仮称）北沢3-9 広場

平成28年3月発行

広場整備ニュース第4号

世田谷区北沢総合支所街づくり課



※このお知らせは広場予定地の周辺にお住まいの皆様様に配布しています。

広場の整備案をまとめました！

世田谷区では、「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づき、東北沢駅の西側に（仮称）北沢3-9 広場の整備を予定しています。

この広場の整備を進めるにあたり、地域の皆様とアイデアを出し合いながら、整備計画をまとめていくため、全3回のワークショップを開催しました。

第3回ワークショップの開催

平成28年2月6日（土）に北沢タウンホール11階 らぶらす研修室3・4にて、第3回広場整備ワークショップを開催しました最終回となるこの日は、14名の方にご参加いただきました。

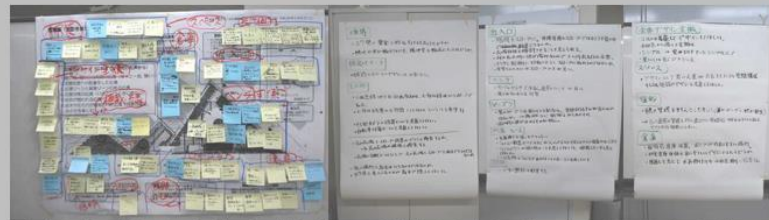
整備案（たたき台）の検討

事前のアンケートや第1回、第2回ワークショップでいただいたご意見をふまえた広場の整備案（たたき台）を紹介しました。

たたき台に対してご意見をいただき、整備案をまとめました。

- ・よりシンプルなデザインがいい。
- ・行き届いた緑地の管理ができるようにしたい。
- ・広場を広く利用したい。

などのご意見がありました。



・たたき台に対していただいたご意見

・整備案をまとめる際の意見やアイデアなど

整備案は2、3ページをご覧ください。

広場の整備案をもとに、設計、工事を進め、平成29年度に開園する予定です。

【お問い合わせ先】

世田谷区北沢総合支所街づくり課（担当：渡邊・木村・松坂）

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階

電話：03-5478-8031 ファクシミリ：03-5478-8019

北沢PR 戦略会議

～自らまちの魅力を伝えたい方、求めます～

下北沢駅周辺では、小田急線の連続立体交差事業と複々線化事業の工事が進められています。小田急線の地下化に伴い生じた線路跡地の利用（上部利用）部分では、今後、駅前広場や緑地・小広場などが整備され、周辺のまちも大きく変わろうとしています。

「北沢PR戦略会議」では、まちの魅力発信や来訪者に対する案内、新たにできる上部利用区施設の管理運営を検討するとともに、実際にまちで活動する方を募集します。

このまちの魅力を伝えるために、あなたのアイデアと活動の輪を広げてみませんか。

第1回北沢PR戦略会議

プログラム

- ◇活動のアイデアを出し合う
新たに行う活動、部会についてのアイデアを出し合います。
- ◇活動の計画を立てる
それぞれの部会で今後の活動の計画を立てます。

日時：平成28年10月16日（日）

午前10時～12時30分

会場：北沢二丁目区民集会所

※詳細は裏面をご参照ください。

参加者を募集します！
下記＜申し込み先＞からお申し込みください！

<申し込み先>

下記電話番号へお申し込みください（申し込み期間：9月9日（金）～10月13日（木））。定員は設けませんが、申し込み多数となった場合、会場を変更することがあります。

☐せたがやコール 電話番号 03-5432-3333

北沢PR 戦略会議

北沢PR戦略会議とは

北沢PR戦略会議では、地域を盛り上げる取り組みに関心のある方を募集しています。

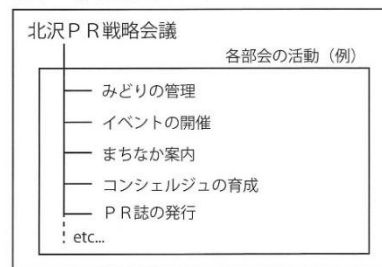
今回の全体会議では、今後の取り組みについて、アイデアを出し合い、方針を決めていきます。出したアイデアの中から各活動のテーマを決め、「この活動に参加してみたい！」というメンバーで部会をつくりまします。

今年度は、この部会で検討を重ね、計画づくりや実施の準備を行い、来年度以降、本格的な活動へ移っていく予定です。

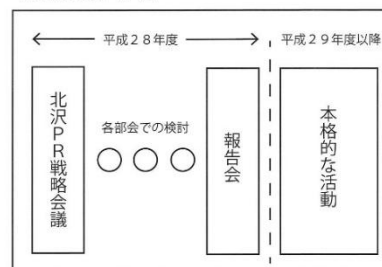
これまで、北沢デザイン会議や区施設検討のワークショップでは、整備に関する内容が中心でした。これからは、「まちへの関わり方を考え、区施設の活用や管理運営などを実践していく場」につなげていきます。

小田急線の線路跡地に新しく作られる空間をはじめとした、まちの魅力を高め、発信する活動に参加してみませんか。

北沢PR戦略会議と部会のイメージ



今後の進め方（予定）



・会場のご案内

北沢二丁目区民集会所

世田谷区北沢2-2-7

N.F.ビル2階

※民間ビルの2階です。

※同じ建物内で他の事業所が営業しています。

来場の際はご配慮ください。



<問い合わせ先>

世田谷区北沢総合支所街づくり課（北沢2-8-18 6階） 担当：渡邊、木村

電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

北沢PR戦略会議

お知らせ

平成30年4月、下北沢駅仮北口改札前に
(仮称)下北沢駅前案内所を開設します！

北沢PR戦略会議にて検討を進めていた、
駅前に開設する案内所について、第4回全
体会議でその概要を報告しました。

■建物概要

- 【建築形態】仮設建築物
- 【規模】約15㎡の平屋建て
- 【目的】道路事業やまちの
情報の案内

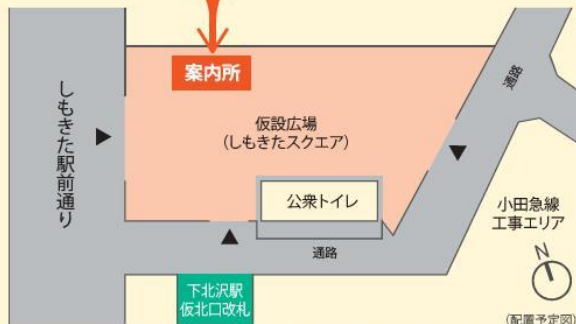
案内所の開設経緯や案内人の
情報についてはこちらへ
<http://bit.ly/shimokita-info>
(北沢PR戦略会議案内内部会)



北沢PR戦略会議の
プロジェクト紹介

Coming Soon!!!

- 設置予定箇所
しもきたスクエア内
(世田谷区北沢2-24)
- スケジュール (予定)
平成30年3月 設置
平成30年4月 開設



案内所は、世田谷10号線(駅前広場)の道路予定地を活用した仮設広場
(しもきたスクエア)内に設置する予定です。

※調整のため、案内所の位置は変更する可能性があります。

北沢PR 戦略会議の 進め方

北沢PR戦略会議では、日ご
ろの部会活動を基に年2回の
全体会議と年度末の報告会を
行っています。

平成30年度も開催予定です。
(日程等は現在調整中です)



《問い合わせ先》 世田谷区 北沢総合支所 街づくり課 担当：渡邊、北島、高安
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8074 ファクシミリ：03-5478-8019

自 ら ま ち の 魅 力 を 伝 え た い 方 、 求 め ま す

北沢PR 戦略会議

第4号
かわら版
平成30年2月

第2回報告会を開催します！

北沢PR戦略会議で今年度活動してきた内容を地域の皆さまに
ご報告する会を開催します。

また、今回は座談会なども予定しています。

どなたでも見学できますので、ぜひお気軽にお越しください！

報告会 プログラム(予定)

1. 各部会の活動報告
2. 区からのお知らせ
3. 座談会

【テーマ】

下北沢における
エリアマネジメントなどの
可能性について

見学の申し込み

見学をご希望の方は、2月14日(水)までに4ページの
《問い合わせ先》にお申し込みください。
(手話通訳有・入場無料)

日時

平成30年

2月18日(日)
13:00～16:00
(開場12:30)

会場

下北沢成徳高等学校
ミモザホール
(世田谷区代田6-12-39)



昨年度の報告会の様子



北沢PR戦略会議

部会のご紹介

地域の方が集まってこんな活動をしています。
皆さまも参加しませんか？

9つある部会の詳しい活動内容をまとめました。

2月18日の報告会で発表します。是非ご来場ください。

北沢PR戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、地域の皆さまによる区施設の活用や、上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。



シモキタ編集部

情報発信

これまで

- ・100人100色（インタビュー調査）
- ・シモキタ探検隊（地域探索）

これから

- ・インタビュー調査を充実したい。
- ・各部会の情報発信をしたい。



イベント井戸端会議

イベント案内

これまで

- ・下北沢駅周辺のイベントの分析
- ・下北沢駅前食品市場の写真パネルギャラリーの開催

これから

- ・誰もが北沢のイベントを知ることができるイベントカレンダー（WEB）を作ろう。



キタザワリ・サーチ

基礎データの収集・分析

これまで

- ・下北沢駅周辺地域の人口、世帯数、年齢層を分析
- ・下北沢駅周辺の自動車動線の調査

これから

- ・お店の業種や各世代や地域に合ったお店などを調査したい。



公共空間運用ルール部会

新しい公共空間の運用ルール

これまで

- ・下北沢駅南西口のオープンに伴う課題の検討

これから

- ・数年後の完成に向け、様々な課題整理と今後の活動の引き継ぎ方を考えたい。



シモキタ緑部会

緑・エディブル

これまで

- ・エディブルガーデンの維持管理
- ・公園や緑化システムなどの事例研究
- ・勉強会、講演会の開催

これから

- ・西側小広場や駅前広場などに緑の提案をしたい。



下北沢案内部会

案内・コンシェルジュ

これまで

- ・案内所の運営方法や体制の検討

これから

- ・運営体制の整備を考えたい。
- ・案内人やコンシェルジュの募集と育成を進めたい。



シモキタの新たな公共空間を再考する部会

新しい公共空間を考える

これまで

- ・小田急線連続立体交差事業についての情報収集、分析

これから

- ・今後生み出される憩いの空間の利用を再考したい。
- ・区や小田急、京王と対話をしていきたい。



子どもから高齢者まで安全にすごせるユニバーサルデザイン部会

ユニバーサルデザイン

これまで

- ・まちの点検…使いやすいトイレやユニバーサル対応の建物など

これから

- ・車椅子などに店員さんが対応してもらえるお店情報を収集・発信したい。
- ・当事者の声を伝えたい。



下北駅広部会

下北沢駅 駅前広場

これまで

- ・「駅前広場に欲しいもの」のシールアンケートの実施
- ・下北沢駅周辺の地形模型の作成

これから

- ・「駅前広場に欲しいもの」のデザインを考え提案したい。
- ・暫定利用整備についても考えたい。

平成29年12月10日に第4回全体会議を開催しました！

（これまでの経緯は4ページをご覧ください。）

〇9部会の活動報告

〇ボード交流会の実施

世田谷区が検討中の事業や今後進めていきたいこと、新しい活動のヒントなどをボードに貼って紹介し、意見交換しました。

- ・下北沢駅西側エリア（立体緑地、小広場等）
- ・小田急線上部通路に区が設置するサインのイメージ
- ・世区街10号線（交通広場）の整備想定スケジュール
- ・地域団体（SAP）による環七壁画全面塗り替えの活動報告
- ・アイデアストックボードの提案
- ・エリアマネジメントの勉強会予告



北沢PR戦略会議

新型コロナウイルス感染症の感染防止策について

●会場内での感染防止策

- ① 室内の換気、マイクなどの物品の消毒の徹底
- ② 手指の消毒及びマスク着用
- ③ 座席間の間隔の確保



●ご参加予定の皆様へのお願い

- ① 体調のすぐれない方、ウイルス感染の可能性のある方はご来場をお控えください。
- ② ご来場時のマスク着用、筆記用具の持参にご協力をお願いします。
- ③ 会場入室時の手指の消毒、検温等にご協力をお願いします。



※新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）について

厚生労働省は新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を提供しています。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



厚生労働省のホームページ

北沢PR戦略会議の開催状況

	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		令和2年度
全体会議	10/16 (日)	12/11 (日)	2/25 (土)	9/10 (日)	12/10 (日)	2/18 (日)	9/8 (土)	12/22 (土)	2/16 (土)	7/13 (土)	11/3 (土)	12/12 (土)
部会間での活動状況の情報共有や、今後の活動についての意見交換を行う場です。	第1回 全体会議	第2回 全体会議	第1回 報告会	第3回 全体会議	第4回 全体会議	第2回 報告会	第5回 全体会議	第6回 全体会議	第3回 報告会	第7回 全体会議	第8回 全体会議	第9回 全体会議
報告会												
活動成果を地域の皆さまに報告する場です。												

《問い合わせ先》 世田谷区 北沢総合支所 街づくり課 担当：北島、伊藤
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8073 ファクシミリ：03-5478-8019

自 ら ま ち の 魅 力 を 伝 え た い 方 、 求 め ま す

北沢PR戦略会議

第6号
かわら版
2020年11月

第9回全体会議を開催します！

北沢PR戦略会議は、テーマ別の9つの部会が活動しており、この度、部会間での活動状況の情報共有や、意見交換を行う全体会議を開催します。（これまでの開催状況は4ページ参照）

どなたでも、ご参加いただけます。事前の申し込みをお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、延期や内容変更がある場合がございます。

●会場参加

〈〈 一般 定員20名（先着）〉〉

【お申込先】北沢総合支所街づくり課

電話：03-5478-8073 ファクシミリ：03-5478-8019

（お名前・電話番号をご記入ください）

〈〈 部会員 〉〉

各部会の世話人に直接お申込みください。

●オンライン参加

北沢PR戦略会議の世話人によるオンライン配信も予定しています。

詳しくは、北沢PR戦略会議のHPにてご確認ください。

二次元コード



北沢PR戦略会議
のホームページ
<http://kitazawa-pr.com/>

第9回 全体会議
2020年 **12月12日**（土）
15:00～17:00

事前申し込み・定員制（無料）

プログラム（予定）

1. 各部会の活動報告
2. 全体意見交換
テーマ：「まちの課題について」



音声コード



※世話人とは、各部会の
まとめ役の方々です。

発行／令和2年（2020年）11月27日
世田谷区北沢総合支所街づくり課

北沢PR戦略会議

これまでの活動の振り返り

昨年度は、全体会議を2回開催し、各部会が集まって情報共有や討論を行いました。運営については世話人会が積極的に携わってきました。

※世話人会とは、部会のまとめ役である世話人が集まり、情報共有や今後の進め方などを話し合う会です。

9つの部会と1つのプロジェクトチームの活動テーマ

部会名称	活動テーマ	部会名称	活動テーマ
シモキタ編集部	まちや北沢PR戦略会議についての情報発信	下北沢広部会	下北沢駅前広場のあり方について考える
下北沢案内チーム	まちの案内・コンシェルジュ	公共空間運用ルール部会	公共空間などについての運用ルールづくり
シモキタの新たな公共空間を再考する部会	新しい公共空間についてのあり方を考える	キタザワリ・サーチ	基礎データの収集・分析
イベント井戸端会議	地域の文化に合ったイベントの検討	まちピアノプロジェクト	音楽・芸術が近くにある生活環境づくり
子どもから高齢者まで安全にすこせるユニバーサルデザインチーム	誰もが安全に使いやすくなりやすい街づくり		
シモキタ緑部会	街中に緑を増やす		

テーマ別に分かれて部会活動をしています。部会とは誰でも参加できます。ご興味のある方は4ページの問い合わせ先までご連絡ください。

昨年度の全体会議の開催状況

第7回全体会議

開催日時：令和元年7月13日（土）
10時00分～12時00分
場 所：北沢タウンホール3階
ミーティングルーム
参加者数：56名
内 容：1) 各部会による報告
2) 全体意見交換



屋外で全体会議を開催しました！

第8回全体会議

開催日時：令和元年11月3日（日）
12時30分～15時30分
場 所：下北沢駅前線路跡地（屋外）
参加者数：約120名
内 容：1) 各部会による報告
2) 全体意見交換



北沢PR戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、区施設の活用や上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を地域の皆さまが検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。もっと地域を知りたい、地域の良さをみんなに知ってほしい、地域を盛り上げたいなど、あなたの想いを拡げていくことができます。

“地域とつながる”主な活動のご紹介

昨年度は、「地域とつながる活動」を年間テーマとして取り組んできました。その中の主な活動をご紹介します。

まちピアノ プロジェクト

世田谷代田駅でまちピアノを実施しました

平成31年3月16日から28日と、令和元年8月24日から9月1日までの2回、まちピアノプロジェクト実行委員会の運営の下、小田急線世田谷代田駅構内においてまちピアノを実施しました。

期間中は延べ約300人の方に演奏していただき、駅構内にピアノの音色が響き渡りました。



まちピアノの様子

詳細は→ まちピアノ プロジェクト

www.facebook.com/machipianoshimokita/

下北沢案内チーム

下北沢まちの案内所の運営！

平成30年に設置された下北沢駅前の案内所は、下北沢案内チームを中心に運営しています。

お笑い芸人による案内に続き、昨年度は新たな試みとして、歌手のボランティアによるまちの案内を行い幅広い方々に利用していただきました。

駅前広場工事に合わせて駅から見やすいサインを設置するなど、少しずつ改良を加えながら運営を行っています。

詳細は→ 下北沢コンシェルジュ協会

<https://visitshimokita.org/>



案内所の様子

下北沢広部会

下北沢 リンク・パークが始動！他団体と連携したイベントも開催しました

下北沢リンク・パークは、誰もが自由に座れる椅子（青い箱）を置くことで、生活者・来街者にとって居心地の良い空間をしつらえ、にぎわいをつくる活動をしています。

昨年度から、下北沢駅前の道路予定地等に椅子を置き休憩場所を作る活動を開始しました。また、東北沢駅前での実施や、子育て支援団体と連携したイベントも開催し、幅広く活動しました。

詳細は→ 下北沢 リンク・パーク

www.facebook.com/shimokitazawalinkpark/



小径のノエル

下北沢駅前

東北沢駅前

リンク・パークの様子

北沢PR戦略会議

新型コロナウイルス感染症の感染防止策について

●会場内での感染防止策

- ① 室内の換気、マイクなどの物品の消毒の徹底
- ② 手指の消毒及びマスク着用
- ③ 座席間の間隔の確保
- ④ 会場の利用人数の制限（収容率50%以下）



●ご参加予定の皆様へお願い

- ① 体調のすぐれない方、ウイルス感染の可能性のある方はご来場をお控えください。
- ② ご来場時のマスク着用、筆記用具の持参にご協力をお願いします。
- ③ 会場入室時の手指の消毒、検温等にご協力をお願いします。



※新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）について

厚生労働省は新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を提供しています。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



厚生労働省のホームページ

北沢PR戦略会議の開催状況

全体会議

部会間での活動状況の情報共有、今後の活動についての意見交換を行う場です。

平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
10/16 (日)	12/11 (日)	2/25 (土)	9/10 (日)	12/10 (日)	2/18 (日)	9/8 (土)	12/22 (土)	2/16 (土)
第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
全体会議	全体会議	報告会	全体会議	全体会議	報告会	全体会議	全体会議	報告会

報告会

活動成果を地域の皆さまに報告する場です。



昨年度の報告会（オンライン開催）

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
7/13 (土)	11/3 (日)	12/12 (日)	3/13 (土)	12/19 (日)	3/21 (月)
第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回	第 12 回
全体会議	全体会議	全体会議	報告会	全体会議	報告会

《問い合わせ先》

世田谷区 北沢総合支所 街づくり課 担当：北島、伊藤、臼井
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8073 ファクシミリ：03-5478-8019

詳細は、[世田谷区北沢PR戦略会議](#) 検索

自 ら ま ち の 魅 力 を 伝 え た い 方 、 求 め ま す

北沢PR戦略会議

第 8 号
かわら版
令和4年3月

第5回報告会を開催します！

おかげさまで、北沢PR戦略会議は、今年度で5周年を迎えました。

5周年の今年度は、今後に向けて北沢PR戦略会議の在り方や名称について話し合ってきました。

その成果を地域の皆様にご報告する報告会を開催いたします。

北沢PR戦略会議の名称が変わります！

第5回報告会プログラム

1. 部会活動のご紹介
2. 今後の北沢PR戦略会議と新名称について

第5回報告会 令和4年 3月21日（月・祝日）

参加自由

10:00 ~ 12:00



晴れ
の場合



雨
の場合

会場：
下北沢駅前 線路跡地（屋外）
「オオゼキ 下北沢店」横
世田谷区北沢 2-32

会場：※雨天時は会場が変わります！
北沢タウンホール
2階 ホール
世田谷区北沢2-8-18



※会場には駐車・駐輪はできません。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容の変更や人数制限等が生じる場合があります。

雨天等による会場の変更は北沢PR戦略会議のサイトで前日の13時にご案内します。
「世田谷区 北沢PR戦略会議」で検索してください。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/003/002/002/d00146831.html>

QRコード



音声コード



発行／令和4年(2022年)3月
世田谷区北沢総合支所街づくり課

北沢PR戦略会議

今年度の活動の振り返り

～北沢PR戦略会議は5周年を迎えました～

今年度は、コロナ禍で制約がある中、これまでの部会活動に加えて、部会を横断した学びの企画や全体会議・世話人会等様々な活動を行いました。

世話人会で今後のことについて議論を積み重ねてきました

世話人会では、これまでの5年間を振り返り、部会の再考やこれからの北沢PR戦略会議の在り方、名称等について議論を重ねることで、今後の方向性が見えてきました。

報告会では、新たな会の名称と、そこに至った経緯等をお伝えする予定です。

又、それと並行して新たな会の活動を紹介するリーフレットの作成を進めています。

リーフレット作成中！！
新たな名称や会の全体像が
分かる内容になっています。

新名称

会の趣旨

お楽しみに！

活動実績

部会の紹介



世話人会の様子



議論を記した板書（一部）

第10回全体会議を開催しました

開催日時：令和3年12月19日（日）
9時00分～12時00分

内 容：各部会の活動報告と全体意見交換
意見交換のテーマ
「これからの北沢PR戦略会議について」

場 所：北沢タウンホール2階 第1集会室

参加人数：35名

<これからについて>

北沢PR戦略会議はスタートして
5周年になります
どうしたら街に貢献できるのか
世話人会で議論してきました

ハードルを低くして
みんなが入ってこられる
場であって欲しいな

ここは、どんな立場でも
意見を言い合える、解決で
はなく検討の場だと思ふ



<会の名称について>

会議の名称も新たに更新することで
今後の方向性をより明確にしたいと
思います

温かい雰囲気が全体
に漂う名称が良いな

街への愛着が深まり、
ファンになっていく
ニュアンスがポイント
だと思います

北沢PR 戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、区施設の活用や上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を地域の皆さまが検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。

もっと地域を知りたい、地域の良さをみんなに知ってほしい、地域を盛り上げたいなど、あなたの想いを拡げていくことができます。

部会活動を継続して行いました

下北沢案内チーム

下北沢まちの案内所の運営

コロナ禍で案内人の確保が困難な中、歌手のボランティアによるまち案内や掲示物等の工夫をして案内を行いました。



詳細は、[下北沢コンシェルジュ協会](#) [検索](#)

子どもから高齢者まで安全に過ごせるユニバーサルデザインチーム

まち歩きワークショップ開催

講師に東京都市大学の稲垣准教授をお招きして、「シモキタらしいユニバーサルデザインの工夫を探そう!」と題して、まち歩きとワークショップを行いました。



講師：稲垣准先生
(東京都市大学)

詳細は、[シモキタらしいUD](#) [検索](#)

駅部会

下北沢リンク・パークを開催

誰もが自由に座れる青い椅子を置くことで、街に憩いの場をつくる活動を令和元年度から行っています。今年度は、下北沢の駅前でも開催しました。



詳細は、[下北沢リンクパーク](#) [検索](#)

みんなで学びました

第1回テーマ：まちづくり活動の情報発信について 令和3年11月24日

記録・理解・共感・参加のための情報が何か考えよう



講師：齊藤啓子先生
(武蔵野美術大学)

講師の齊藤先生から「記録」「理解」「共感」「参加」という、地域活動の情報発信の目的と、それらのプロセスにおけるポイントを教わり、後半はワークショップで実際にプロセスを体験しました。



第3回テーマ：まちの災害対策について 令和4年1月21日

区の防災についての考えをお伝えします



講師：斎崎聡子係長
(世田谷区北沢総合支所
地域振興課)

下北沢の災害時の対策の基本的な考え方について、区の担当係長より説明を受けました。

第2回テーマ：公共空間の活用について 令和3年12月8日

自由が丘では議論の場、意思決定の場を明確にしています



講師：中山雄次郎先生
(自由が丘商店街振興組合/
ジェイ・スピリット事務長)

講師の中山先生から、自由が丘における地域主体の公共空間の活用について伺いました。活用には組織とルールが重要なこと、組織の中に自由な議論の場と意思決定の場を分けて設けていること等を教わりました。



北沢PR戦略会議

全体会議・報告会



下北沢駅前仮設広場 案内所

イベント活用・ボランティアによるライブ



まちピアノプロジェクト

世田谷代田駅構内での開催



小田急線上部利用の参加のデザイン

◆住民参加と情報開示の仕組み

北沢デザイン会議 区主催（経過報告・意見交換）

➡ 北沢デザイン通信 発行

北沢PR戦略会議 区民主催（部会・全大会議・報告会）

➡ かわら版 発行

◆ワークショップの開催

上部利用デザインワークショップ（北沢デザインガイド）

下北沢駅 駅前広場ワークショップ 提案書

東北沢駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

代田富士356広場 ワークショップ

➡ 代田みごろ花植え隊 結成

北沢さんきゅう広場 ワークショップ

➡ やまぼうし 結成

シモキタリングまちづくり会議

ごあいさつ

会のはじまり

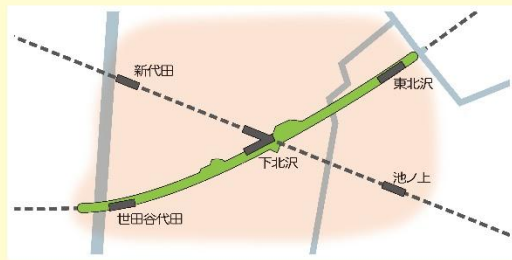
東北沢～下北沢～世田谷代田の区間は、道路と鉄道の連続立体交差事業により地域全体に大きな変化がもたらされてきました。この事業を進めるには地域住民の意向を反映することが基本となっています。下北沢地区の小田急線連続立体交差事業にまつわる行政訴訟は2016年3月の和解を経て、世田谷区における住民参加をさらに前向きに進める契機となりました。「北沢PR戦略会議」はその一環として同年10月に「幅広い住民参加の議論の場」「まちの魅力を高める活動の検討・実践の場」として、世田谷区支援のもとスタートしました。

話し合いと活動の両輪

緑と防災の基軸や歩いて楽しめる街の実現に向けて、新たな公共空間の利用についての議論を重ねながら鉄道事業者などの協力の下、住民の自主的な街づくり活動を行っています。現在8つの部会がテーマ別に活動しています。

新名称を考えました

この度、5年の活動を踏まえ、住民参加と地域住民の自主的な活動をより深化させていこうという趣旨で「北沢PR戦略会議」を新名称へと変更しました。新たな名称は「シモキタリングまちづくり会議」。「リング」はまちづくりの輪を意味します。地元町会や地元商店街などと連携を深めながらまちづくりを進めていきたいと考えています。シモキタ地域をより魅力ある街にするため一緒に活動しませんか。



こんな部会・プロジェクトで活動中です

○ まちづくり会議

まちづくりに関心のある人なら誰でも、自由に話し合うことのできる場です。みんなで知恵を出し合い、力を合わせてまちづくりにつなげていくことをめざしています。

■ 新公共空間再考部会

シモキタの連立事業の歴史と裁判和解を踏まえ、事業の検証をしつつ「緑と防災の基軸」「歩いて楽しめる街」「文化の街」の観点から新たな公共空間の実現をめざします。

■ リ・サーチ部会

見逃されがちな着眼点から、まちづくりに必要なデータを集め、街の現況を調べたり、提案を行っています。

■ 健康会

毎朝のラジオ体操を通じて、健康が自分の幸せとなり、その延長線上にある幸福なまちの姿を考えて活動しています。

■ まち運営調整部

住民・事業者・鉄道事業者・世田谷区・警察・消防などとまちづくり情報を共有し、まちの運営について検討・提言する会議体をめざしています。

■ シモキタ園藝部

まちの植物を地域の共有資源とみなし、丁寧に手を入れ守り育てながら、緑と人が関わり合う、シモキタの新しい園藝文化をつくっていくことをめざしています。

■ 駅広部会

下北沢駅前に新しくつくられる空間のあり方や運営方法を考え、様々な団体をつなげるアクションを起こしています。

■ 案内部会

「まちの案内所」と「街歩きイベント」の活動をしています。

■ だれにも安心でやさしいユニバーサルデザイン部会

この街で暮らしている人、働いている人、いろいろな障がいのある人、外国の人、こどもからお年寄りまで、すべての人へのバリアフリーを大切にしたいまちづくりをめざしています。

● まちピアノ・プロジェクト(裏面に詳細を掲載しています)

● 下北沢リンク・パーク(裏面に詳細を掲載しています)

誰でも参加できる
まちづくりを目指して

シモキタ リング

「誰でも参加できるまちづくり」をめざして活動してきた「北沢PR戦略会議」が「シモキタリング まちづくり会議」と名称変更しました。街で活動するひと、暮らしているひと、働いているひと、遊びに来たひと、誰もがまちづくりに関われるシモキタ。いろんな想いを集めたいろんな色を持った活動が、生き生きとしたシモキタをつくっていく。そんなイメージを「シモキタリング」にこめました。ぜひ、あなたも一緒に。

ぜひQRコードからご連絡ください。



シモキタリングまちづくり会議

「シモキタリング」って何だろう。

真ん中の白いまるはなに？

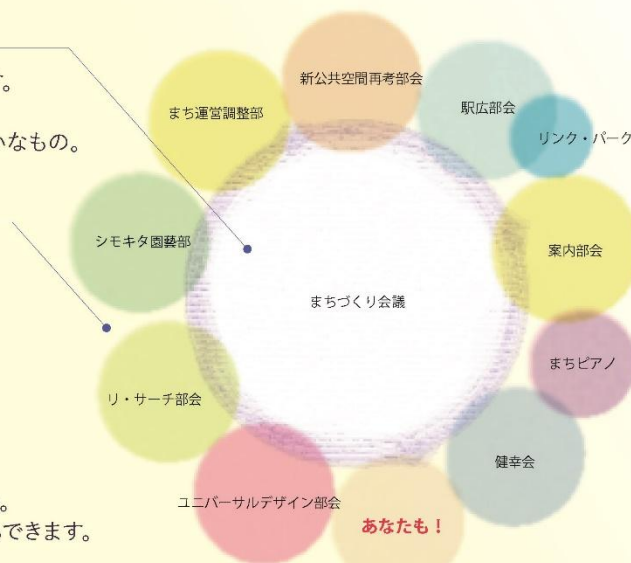
「シモキタリングまちづくり会議」といいます。
自由な意見交換の場として
みんなのまん中に置かれたテーブルみたいなもの。
シモキタリングの大切な拠点です。

周りのまるは何だろう。

まちづくり活動の参加者です。
テーマごとに「部会」というグループがあって
それぞれ、様々な活動をしています。
まん中のテーブルを囲むようにして
部会同士が連携した活動も行われています。

どんな部会があるの？

すでに活動している部会が8つあります。
裏面に各部会を紹介しているのでご覧ください。
また、新しい部会を提案して活動を始めることもできます。



誰でも弾ける、まちピアノやっています

下北沢を歩くと、きこえてくるピアノの音色。美しい旋律に足をとめ、聴き入り、曲の終了と同時に笑顔で拍手するひとびと。音楽を愛するひとが多く集うシモキタならではの街角の風景です。新しいコミュニケーションの場と時を創出しようという私たちのプロジェクトです。



下北沢リンクパークで、空き地を開放

下北沢リンク・パークは、道路予定地に誰もが自由に座れる椅子（青い箱）を置くことで、生活者・来街者にとって居心地の良い空間を仕つらえ、にぎわいをつくり、遊べる場を生み出す、そんな活動をしています。

つながりを生み出します。

疲れたらちょっと座りたい。体操で健康になりたい。みどりに気持ちを癒やされたい。困っている人に親切にしたい。そんな未来について話し合っています。駅前で会いたい人の名前を尋ねて、3人以内でみつけるのをよいまちというらしい。

まちを調べて提案します。

連立事業によってまちの中では人や車の流れ、その他さまざまなことが変化を見せ、それらは計画したものとは異なっていることも数多くあります。そうしたことを踏まえて、必要な施設や機能の提案や、その元となるデータなどを調べていきます。

街の文化を盛り上げます。

下北沢の面白いことには、結構な割合で私たち関わっているんです。駅前の謎の白いコンテナ、案内所なのに音楽ライブをやってるし、素敵な音色ですっかり定着したストリートピアノ、自由に座れる青い箱のリンク・パークも私たちのアイデア。一緒に街を揺さぶりましょう。



シモキタ好きな人が、まちの案内所やっています

東口駅前にある白いコンテナボックスは「まちの案内所」です。案内所ではシモキタを訪れるみなさんにボランティアの人達がまち案内をしています。まち案内をしていてくれる人の中には歌が上手な人もいて、まち案内の後に案内所で歌を唄っていることがときどきあります。

北沢PR戦略会議 → シモキタリングまちづくり会議

208mm A

「シモキタリング」は、地域の魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

ともに紡ぐ。みんなの想い、まちの物語。

色彩豊かに。まちの魅力を引き出す。

210mm B

シモキタリング活動の心ここち

活動メンバーからの声

「シモキタリング」は、地域の魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

シモキタリング

210mm C

誰でも参加できるまちづくりを目指して

シモキタリング

まちづくり会議

「誰でも参加できるまちづくり」を目指して活動してきた「北沢PR戦略会議」が「シモキタリングまちづくり会議」と名称変更しました。これまで活動してきたまちづくりの活動の中心に、地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

かわら版

208mm D

部会活動の様子

シモキタリングまちづくり会議の部会活動の様子です。地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

シモキタリングまちづくり会議の部会活動の様子です。地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

208mm D'

下北沢のまちづくりの系譜

北沢PR戦略会議（シモキタリングまちづくり会議）がスタートの背景と、まちづくり活動の経緯

下北沢地区は、1940年から1960年代にかけて、大規模な住宅開発が行われ、人口が急激に増加しました。この結果、地域の魅力を最大限に引き出すまちづくり活動が求められました。

1964～2008年

2009～2015年

2016

誰もが参加できるまちづくりの実現の場へ！

北沢PR戦略会議

2016年、北沢PR戦略会議がスタートしました。地域住民の力を結集し、まちの魅力を最大限に引き出すまちづくり活動です。

210mm C' 210mm B' 208mm A'

活動立ち上げ 地域の魅力を最大限に引き出す

活動展開 地域とのつながりをつなぐ活動を始める

コロナ禍の影響による活動の減速

シモキタリングまちづくり会議に発展

活動の発展

シモキタリングまちづくり会議の活動の経緯と、地域とのつながりをつなぐ活動の展開を、2017年から2023年までの年次別で示します。

シモキタ園藝部設立までの経緯

グリーンライン下北沢（2011年 結成）

小田急線上部に誕生する新たな公共空間について、環境に配慮した空間として考えていくNPO法人
（勉強会・ワークショップ・シンポジウム等の開催）

シモキタ緑部会（2016年 発足）

北沢PR戦略会議（シモキタリングまちづくり会議）に結成された部会のひとつ

シモキタ園藝部（2020年 設立）

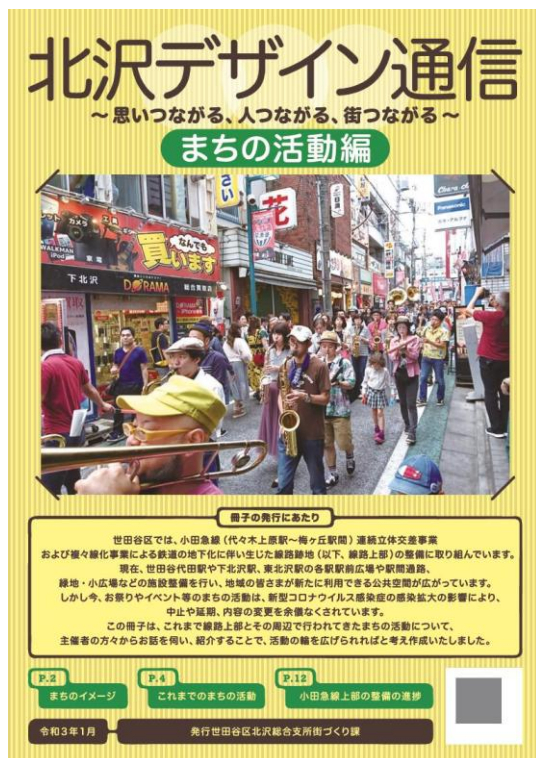
世田谷区の北沢・代沢・代田地域を主なフィールドに、まちの植物を守り育てていくことを目的として設立された小田急線上部の植栽管理を行う一般社団法人
（公益信託世田谷まちづくりファンドの活用）
（第43回 緑の都市賞 内閣総理大臣賞）

小田急線上部のみどり



関連図書

北沢デザイン通信 特集号 (世田谷区発行)



雑誌 特集号



造景2022 出版記念シンポジウム 【YouTube公開】



建築ジャーナル No.1353 2024年 4月号

人をつなぐ街を創る

I 部 街づくり先進都市・世田谷

- 第1章 世田谷区という街づくりの舞台
- 第2章 世田谷区における街づくりの発端
- 第3章 世田谷区街づくり条例の歩み
- 第4章 街づくりが抱える課題の解決

II 部 事例から見る街づくりへの新たな試み

- 第5章 密集市街地の防災街づくり—太子堂2・3丁目地区
- 第6章 小田急線上部利用の街づくり—下北沢駅周辺地区
- 第7章 京王線沿線の街づくり—明大前駅周辺地区・下高井戸駅周辺地区
- 第8章 都市計画道路沿道の街づくり
—補助216号線・補助52号線・放射23号線

III 部 合意形成のために

- 第9章 住民参加の街づくりの歩みと未来
- 第10章 街づくりの推進に期待すること
- 第11章 信頼関係の構築と合意形成
- 第12章 誰も置き去りにしない街づくりの心得

信頼関係の構築と合意形成

- 1 反対者を認めるためのプロセス
反対者の意見を聴くことは無駄ではない
北沢PR戦略会議・明大前街づくり学校
- 2 新たな関係が創り出すソーシャルキャピタル
人と人との関係を紡ぐ仕組みの数々
エリアマネジメント・プレイスメイキング
- 3 情報開示がもたらす関係の変化
徹底した情報開示でしか行政は信頼を得られない
街づくりアドバイザー・ワークショップアイテム
- 4 行政参加の必要性
将来像を描くために残された課題
行政計画の限界・地域力の醸成

誰も置き去りにしない街づくりの心得

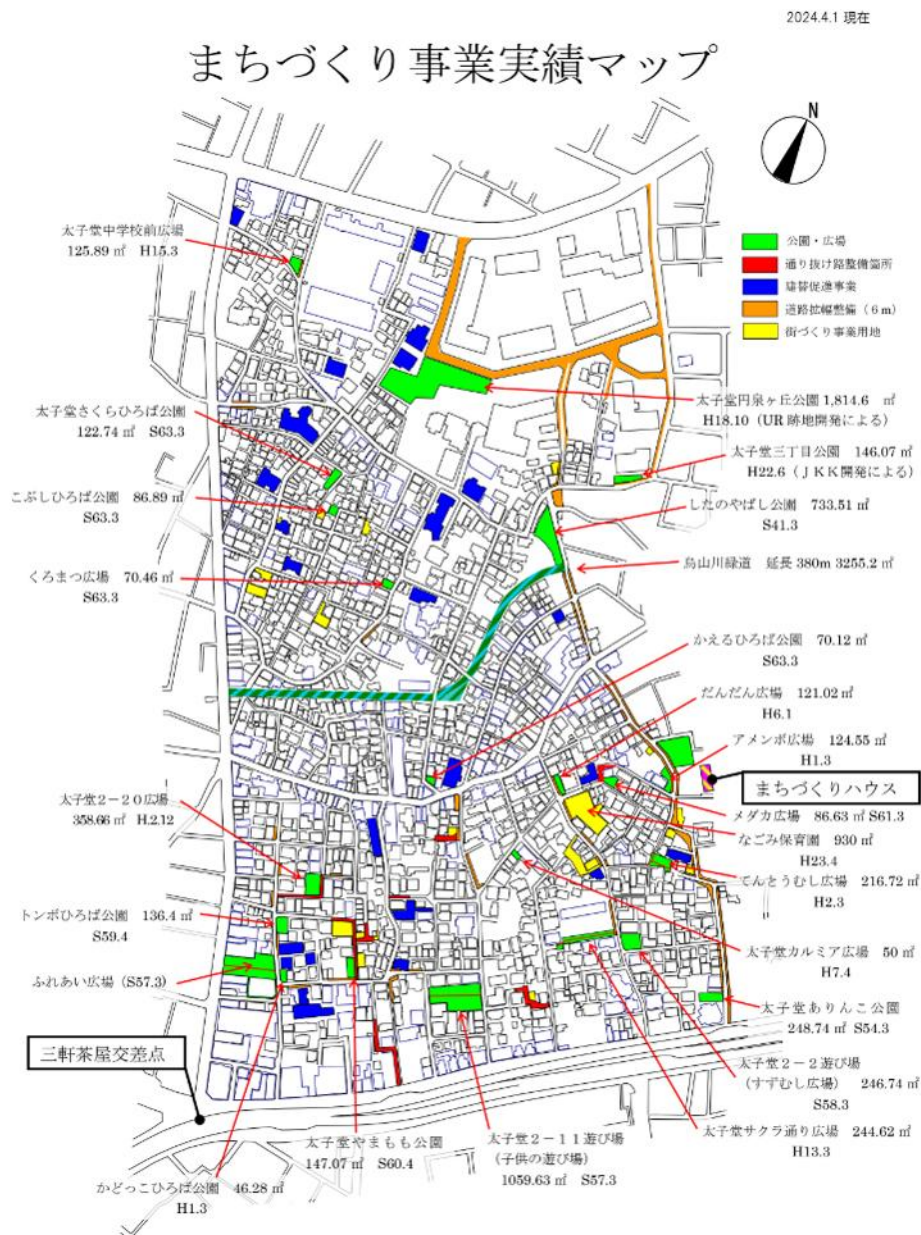
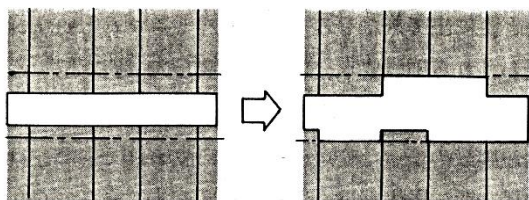
- 1 正義はひとつではない
退けられる反対意見に耳を傾ける努力をする
- 2 情報量を合わせる努力をする
すべての人が同じ情報を得た瞬間に物事を決める
- 3 パートナーとしての関係性を創る
相手を思いやる水平関係が信頼関係を創る
- 4 価値観を尊重したプロセスを組む
個人や組織が持つアイデンティティを尊重する
- 5 今の仕組みを疑う心を持つ
目の前の壁を越えるためにアイデアを出し合う

キーワード：情報開示・行政参加

太子堂2・3丁目地区（修復型街づくり）



道路整備の考え方



太子堂2・3丁目地区（三太通り沿道会議）



三太通り道路整備についての共同宣言

世田谷区および三宿1丁目地区と太子堂2丁目地区の境の道路（通称 三太通り）の沿道住民は、三太通り周辺地域の防災性能の向上と安全確保のため、以下の事項を守るとを宣言します。

- (1) 三太通りに接する関係権利者（以下沿道住民と言う。ただしアパート・マンション居住者を除く）は、三太通りを最低幅員4mの道路とするため、建て替えの時に道路中心線から2m後退の基準を遵守します。
- (2) 沿道住民は、世田谷区と関係権利者との協議と合意にもとづいて、三太通りを部分的、段階的に拡幅整備を進めること、特にクランク状部分の拡幅整備に重点を置いて取り組むことに同意します。
- (3) 沿道住民は、世田谷区と協働して障害物除去や緑化など居住環境の向上や防災性能、および安全性を高める創造的な対策の確立と実現に努力していきます。
- (4) 世田谷区は、三太通りの道路整備にあたっては、自動車交通安全対策の確保のために、道路構造についても沿道住民および周辺住民と協議し、計画に対する意見、要望、提案を十分反映していきます。
- (5) 世田谷区は、道路整備を進めるにあたって沿道住民の財産権および平成9年2月の沿道会議提案を尊重し、拡幅整備に協力する住民の土地売却、建物・工作物の除却、代替地の斡旋などについては特段の配慮をします。
- (6) 世田谷区と沿道住民は、将来的に三太通りの6m道路空間を確保するため継続的に協議していきます。

上記事項の宣言は、世田谷区および沿道住民過半数の署名をもって有効とします。

以上

上記共同宣言に同意いたします。

平成10年8月26日

世田谷区長 大場啓二
代理 世田谷総合支所長

小畑 昭



太子堂2・3丁目地区
まちづくり協議会会長

玉橋 順

三太通り沿道会議
代表

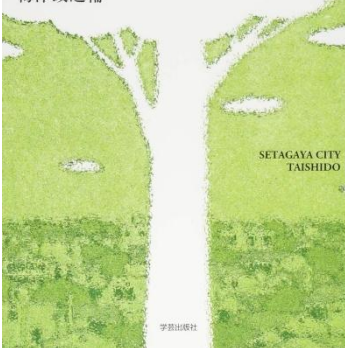
河合 亮一

三宿1丁目地区
まちづくり協議会会長

佐々木 国男

太子堂・住民参加のまちづくり
暮らしがあるから
まちなのだ！

梅津政之輔



明大前駅周辺地区（明大前街づくり学校）

平成 26 年度

明大前 街づくり学校

受講生募集

京王線の開かずの踏切解消に向けた連続立体交差化や、これを契機とした駅前広場と道路の整備により、街は大きく変わろうとしています。

より魅力的な街の将来像を考える場として、昨年度「街づくり学校」を開校しました。今年度も引き続き「交通計画」「商業計画」「地区街づくり」の3つのゼミを開講し、それぞれの分野を専門とする大学の先生と一緒に街づくりを考えます。

学校長 保坂展人 世田谷区長

寺内 義典 先生

国士舘大学理工学部教授
専門：交通工学

交通計画ゼミ

昨年のゼミでの提案を掘り下げながら、通学路や生活道路のあり方、道路のかたちについて、より具体的に検討を進めます。子どもが安全に歩ける道、住宅地の通過交通対策などを考えていきます。

岡田 浩一 先生

明治大学経営学部教授
専門：中小企業論

商業計画ゼミ

駅前広場周辺の環境が変わろうとしていることを地域活性のチャンスとしてとらえ、地域コミュニティの重要な構成主体である商業の活性化を軸に、ソフト面から地域活性化を考えていきます。

齋庭 伸 先生

首都大学東京都市環境学部
准教授 専門：都市計画

地区街づくりゼミ

地区全体のまちづくりについて、これまでの議論もふまえた上で、まさに必要なもののアイデアを出しながら具体的な検討を進めます。防災、緑、景観、活性化、環境整備等の視点で取り組みます。

《開校日時》

日程		6月		7月		9月		10月		1月
ゼミ		21日 (土)	28日 (土)	5日 (土)	20日 (土)	27日 (土)	18日 (土)	25日 (土)	24日 (土)	
	交通計画	合同オリエンテーション		午前		午後		午前	修了式 合同報告会	
	商業計画		午前			午前	午前			
	地区街づくり	午前		午後	午後		午後		午前	
	会場	A	B	B	B	B	B	B	A	

※12月に「防災」をテーマにした「特別ゼミ」を予定しています。詳細はニュース等でお知らせします。

《会場》

A：明治大学和泉キャンパス
和泉図書館1階ホール
B：明治大学和泉キャンパス
リエゾン棟1階 L1教室

《時間》

午前：9:30～12:00 (予定)
午後：1:30～4:00 (予定)

※会場の場所、申し込み方法は裏面をご覧ください

●第2回商業計画ゼミ

- ・明大前駅周辺で、明大前のイメージについてのアンケート調査を街頭調査グループと商店街調査グループに分けて実施した。
- ・調査結果をグループごとに発表し、成果を共有した。
- ・アンケートの意見は多岐に渡り、明大前には明確なイメージがないという結果が出た。



- ・第2回は、明大前駅南側地区について、街の模型を使って自由に意見交換を行い、具体的な空間像を検討した。
- ・第3回は、前回検討した空間像をさらに再検討した案について、それぞれグループ相互で説明、意見交換を行い、お互いの案について理解を深めた。
- ・明大前駅南側地区について3つの案を提案するのではなく、様々な考え方があふれることを共有し、今後の街づくりの参考とすることを目的とした。



第2・3回：明大前駅南側地区の具体的な空間像を考える

案を多様化するために「高容積化」「中容積化」「現在の容積のまま」の3テーマ5グループで検討した。

《テーマA：高容積化》

商業と商業の活性化、人口の増加を重視し、大規模商業施設や集合住宅などが入る可能性を追求する案。建物は15層建てを上限とした。

【グループ1】



- ・駅前広場周辺を再開発し大きな建物を建て、下層階に商業施設上層階に集合住宅を設けることにより、地域の人口を増やし賑わいのある街にする。
- ・建物の横に公園イベント広場を設け、防災、環境面の機能向上を図る。
- ・銀行や公共施設を設ける。
- ・既存の商店街地域のまちとちのつながりを継続的に確保するように工夫する。

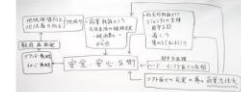
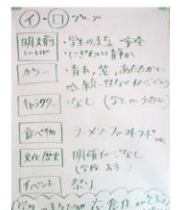
《テーマB：中容積化》

住み続ける、ぬいを続けることを重視し、駅前広場と補助第154号線の整備に伴う街の変化を地区内で受け止める案。建物は7層建てを上限とした。

【グループ2】



- ・明治大学で行われる会議等の出席者が留泊する施設を設け、学統的・文化的な人が街に集まるようにする。
- ・人が集って居る図書館を設ける。保育園や児童館、レンタルスペース等を併設し、誰もが利用できる施設にする。
- ・ある程度賑やかな街にするために、数人単位で集まるようなスペースを街に点状に設け、他の施設とあわせて街に回遊性を持たせる。



《テーマC：現在の容積のまま》

落ちついた住宅地という環境の維持を重視し、駅前広場と補助第154号線整備に伴う街の変化を最小化する案。建物は3層建てを上限とした。

【グループ3】



- ・補助第154号線が全線開通するまでは車の交通量が少ないので、駅前広場で駅前広場に芝生を敷いて子どもたちが遊べる場所にする。
- ・駅前広場周辺は住宅地のままとする。建替えは一気には進まない。実態には、一部の建物が商業施設になる程度で済ませる。
- ・松原大通りは商店街にする。セストバックや自転車道などで歩道を広げて歩きやすくする。

【グループ4】



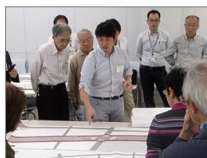
- ・土地の利用区分はほとんど変えないが、ゆっくりと建替えが起きることを想定している。商業施設が増えるかもしれない。
- ・文芸地区などの土地柄に相応しい、商業に対する規制をかけて、交通の便が良く、子どもだけで通える良好な環境を維持する。
- ・松原大通りをセストバックや自転車道にする。歩行者主体の道路にする。
- ・但しゆっくりとある住宅地も確保する。

【グループ5】



- ・駅前広場周辺の建物の容積は変えないが、1・2階に商業施設を設ける。また、回遊性を持たせるために緑豊かな散歩道を新設する。
- ・開の建設に際しては公園やイベントのできる広場を設ける。
- ・補助第154号線と松原大通りには商業施設を設置する。松原大通りは商店街にする。セストバックや自転車道にする。歩行者主体の道路にする。
- ・但しゆっくりとある住宅地も確保する。

- ・第2回は、都市計画道路補助第154号線の整備に伴い、松原小学校付近の歩行者の安全を考え、7つの案を比較し、各案のメリット・デメリットを議論した。
- ・第3回は、補助第154号線の各案の議論をさらに深め、また、地区づくり計画の策定に向け、昨年のゼミの成果を踏まえて地区全体の交通課題について議論した。
- ・道路のあり方は局所的ではなく地区全体の対策が必要なこと、今後も課題を検討する場が必要なることを確認した。



←グループに分かれて議論した。

補助第154号線は、現在の区の計画を基本として、しつらえなどにより安全確保を考えていくことを共有した。以下が各案の説明と議論内容である。

現在の計画の幅員構成を変更する案

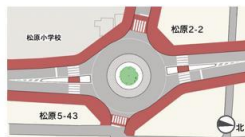
現在の計画の幅員構成を変更する案



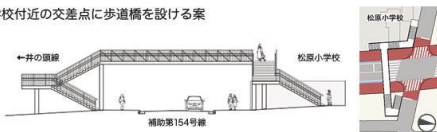
松原小学校から明大前駅までは歩道を広くし、快適な歩行空間を確保する。歩車分離式信号やガードレール、ハンブなどで、子どもたちと住宅地内の安全性を確保する。

松原小学校付近の交差点を信号機のない環状交差点にする案

交差点の交通量が多いと渋滞が発生するが、交通量を減らす策としては有効である。複数設けるとより効果が高まる。小学校の通学時間帯の安全確保が難しい。新たな用地確保が必要になる。

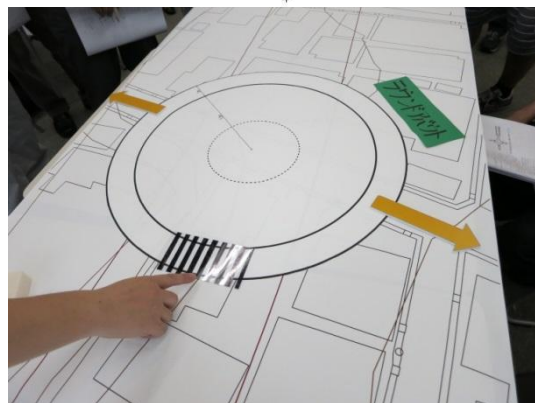


今時、利用しないのではない。バリアフリーと防犯の課題がある。新たな用地確保が必要になる。



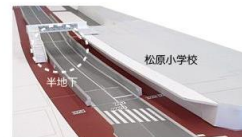
歩道橋案の歩道橋を井の頭線の東まで延ばす案

通学時の安全性が確保できる。周辺のプライバシーや生活道路の安全性に問題がある。周辺の建替えに影響が大きい。



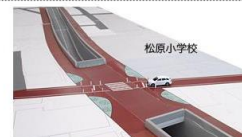
松原小学校付近の車道を半地下にし、歩道橋の高さを抑える案

通学時の安全性が確保できる。豪雨対策が必要になる。歩道の上部を小学校が活用できる。歩道が暗がりとなり、防犯上課題がある。



松原小学校付近のみ車道を地下化する案

歩行者の安全性が確保できる。地下への出入口部分により地域と道路が分断され、未接道の敷地が生まれる。豪雨対策が必要になる。建設コストがかかる。



車道を広域で地下化する案

歩行者の安全性が確保できる。地下への出入口部分により地域と道路が分断され、未接道の敷地が生まれる。信号がなくなり通りやすくなるので交通量が増える。豪雨対策が必要となる。建設コストがかかる。



←参加者全員で議論した。



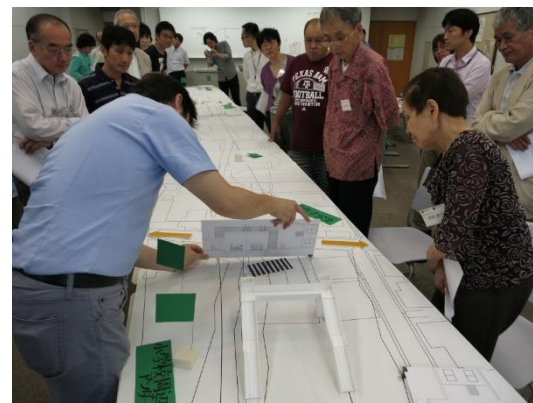
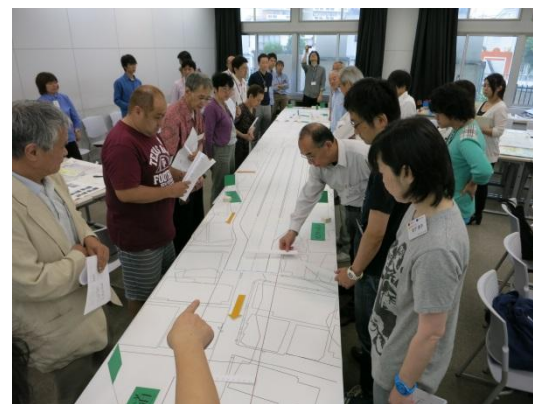
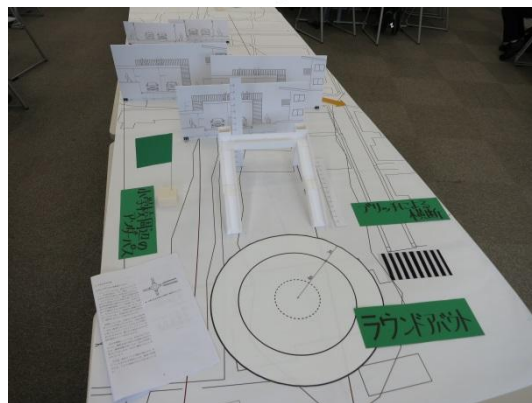
【補助第154号線の西側】
松原大山通りや菅原天神通り
など軸となる道路の交通計画
が大切である。日本学園付近
のスクールゾーンの徹底や赤堤
通り付近からのゾーン規制が
考えられる。

【補助第154号線の東側】
補助第154号線や放射第23号線が整備された際の抜け道対策として、地区内にゾーン規制をかけることが考えられる。

一【自転車との共存】

—【今後に大事な視点は】

子どもの交通安全を確保するため、放課後などによく使う道も含めて検討する。
交通問題も含め、継続して街づくりを検討する街づくり協議会などの場が必要になる。



下高井戸駅周辺地区（街づくり協議会主催WS）



みんなでつくる明日のしもたかブック

目次

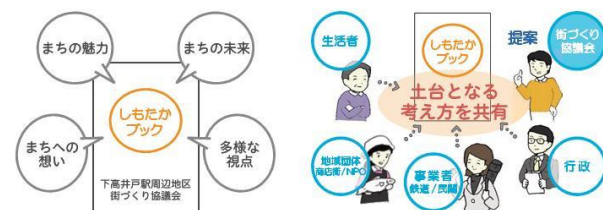
しもたかブックの役割	1
しもたかブックの位置づけ	1
まちの歴史と魅力	2
まちづくりの基本理念・目標	4
まちづくりの目標①	6
まちづくりの目標②	8
まちづくりの目標③	10
将来のまちへの想い	12
これまでの・これからのまちづくりの取り組み	14
資料編	16



対象範囲：下高井戸駅周辺



下高井戸のまちづくり
やっぱり面白い

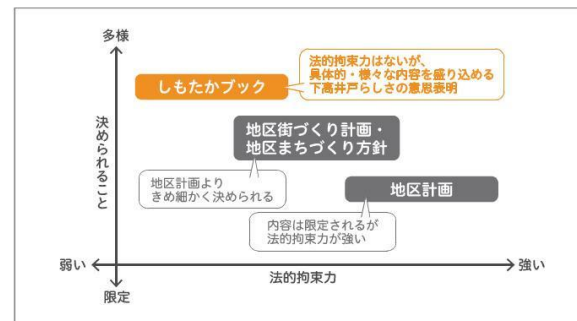


しもたかブックの役割

しもたかブックは、下高井戸のまちの魅力や課題、具体的なまちづくりの将来像や方向性などをまとめたものです。「下高井戸駅周辺地区街づくり協議会」が中心となり、地域の方々の様々な意見を参考にしながら作成しました。

しもたかブックの内容は、作成に携わった方々だけでなく、生活している人、販売を営んでいる人、学生など、まちに関わる皆さまと共有し、同じ方向性でまちづくりに取り組むことで、まちの魅力をさらに高めていくことができると考えています。

具体的なまちづくりの手法やしもたかブックの内容は社会情勢やまちづくりの進捗等に応じて考え、見直しを加えていきます。



しもたかブックの位置づけ

法的拘束力はありませんが、具体的なまちづくりの将来像を描けます。

将来のまちへの思い

これからも皆さんと一緒に考え、皆さんが思い描くまちの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。しもたかブックを手元に、あなたの想いも一緒に描いてみませんか？

- ・多世代交流スペース
- ・キッズスペース、保育園
- ・ドッグカフェ
- ・公衆トイレ
- ・オープンカフェ
- ・図書館
- ・情報発信（学生向け、歴史・文化）
- ・街の掲示板（歴史・文化を含む）
- ・新しい仕事を生み出す場所（コワーキングスペース）
- ・アンテナショップ
- ・下高井戸らしいホール（多目的ホール） など

甲州街道

低層部：商業施設
上層部：住居
(共同化・再開発)

中庭

北口れんが通り

新市場

緑化

オープンスペース

駅前広場
歩行者広

商業施設
(共同化)

低層部：商業施設
上層部：住居
(共同化)

駅前通り

駅前広場
(交通系)

都計計画道路補助128号東計画

下高井戸駅

京王線
改札口

緑化

緑化

低層部：商業施設
上層部：住居
(共同化)

オープンスペース

緑化

緑化

不燃化の促進、避難場所や
防災活動の場所の整備

◆ 駅周辺の人の流れ
 ◆ 回遊性（通り抜け）
 ◆ 駅周辺への車のアクセス路
 ◆ 駅周辺の車の流れ

- ・ 11ページの「駅前広場（歩行者系）の考え方」
C案の考えを基に、京王線の南北にオープンスペースを設けて、高架下を含めて一体的に利用できるようにします。
- ・ 駅の南北で共同化や再開発を行い、建物周辺のオープンスペースを駅前広場（歩行者系）や高架下と連続させます。
- ・ 駅周辺に遊ぶ場所や集える場所を増やします。
歩行者動線を多様化して回遊性を高めます。

- ・自動車の往來を駅前広場のある箇所に限定することで、駅周辺への自動車の乗り入れを減らします。

・【防災】
・建物の共同化等により不燃化を促進し、また、オープンスペースを増やすことで災害時の避難や防災活動に役立てます。

まちづくりの目標①から③の実現に向けてまちづくりを進めていくと、まちは少しずつ成長し、以下のような光景がまちのあちこちに増えていくのではないのでしょうか。

ぜひ皆さんも
思い描いて
みてください

「今日は外が気持ちよさそう！」
駅前広場にはくつろげるベンチやオープンカフェがあります。日を浴びて過ごしたいとき、気分を変えたいときなど、思い思いに過ごすことができます。

「いつもの場所で会おう！」
駅前広場は地元の人たちの集いの場、遊び場。
少し離れた公園に行くのもいいけど、家の近
くで遊べるのは家族にとっても安心できます。

「今日はどんなイベントがあるかな？」
駅前広場では商店街の人たちが中心となって
各種イベントが開催されているので、外出する
楽しみが増えます。

「〇〇さん！ こんにちは～」
道端での出会い、各種イベントでの出会い、
コミュニティカフェでの出会いなど、地域の
人たちと話す機会が増え、人のつながりが
増えます。

「ね～早く行こうよ～」
家族で団らんできる場所や買い物の前後に遊べる場所が増えるので、家族揃って出かけることが楽しくなります。

「あ、招き猫型だ！」
四季折々変化する木々の間を世田谷線がゆったりと通り過ぎていく姿は、昔と変わらず心を落ち着かせてくれます。
そんな世田谷線の沿線には店が点在し、皆さんの散策ルートになっています。

こんなことができたらいいな！



京王線が高架化され、世田谷線が移設された
場合の駅前広場（歩行者系）のイメージ

「宿題は終わった？」
商店街を含め、地域の人たちと子ども
が接する機会がより一層増え、世代を
超えたコミュニケーションが自然と取
れるようになります。

「新しい店ができたみたい！」
チャレンジスペースには個性豊かな店
が出店してきます。まちにひいきの店
が増えていきます。

「今日の献立は何にしよう？」
 そんな時は店主との会話の中から料理
 のヒントをもらえます。レパートリー
 が増え、食卓が賑やかになります。

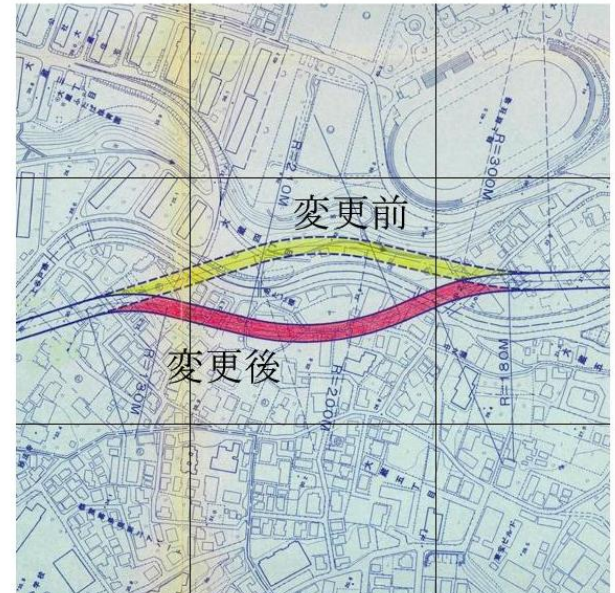


都市計画道路補助216号線沿道地区（道路計画）

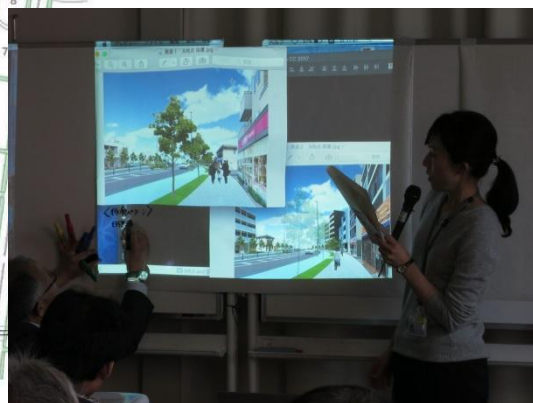
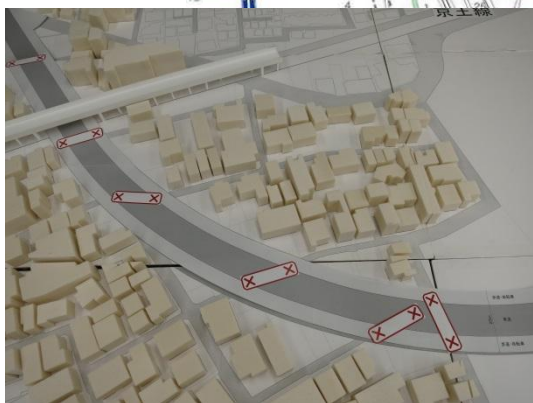
■各地区の概要



■地区施設の整備



放射23号線沿道地区（様々なアイテムの活用）



都市計画にみる住民参加の歩み

行政 国・地方公共団体（都道府県・市町村）
中央集権国家「由らしむべし、知らしむべからず」

参加 説明会・公聴会・意見書提出
参画 ワークショップ・街づくり協議会
協働 エリアマネジメント・プレイスメイキング

1968	（昭和43）年	都市計画法公布
1980	（昭和55）年	地区計画制度創設
2000	（平成12）年	「地区計画等の案の申出」創設
2002	（平成14）年	「都市計画の決定等の提案」創設

1994	（平成6）年	行政手続法施行・行政指導規制
1998	（平成10）年	特定非営利活動促進法（NPO法）公布
2000	（平成12）年	地方分権一括法施行

道路整備について思うこと

◆道路を整備してもしなくても双方にデメリットがある。
安全性の向上のために道路整備を推進すると、地域分断や
商店街消滅といった副作用が発生する。

◆行政の思い

地権者に平等に対応して道路整備を推進したい。
苦情が少なく管理のしやすい道路を整備したい。

◆住民の思い

住み慣れた地域に住み続けたい。
この地域で今まで通りに商売を続けたい。

◆行政の思いと住民の思いの双方が満たされる道路整備と
はどうすれば良いのだろうか？

シビックプライド（誰も置き去りにしない結果）

2025

都市社会研究

Journal of Urban Social Studies NO.17

特集

「シビックプライドとまちづくり」

シビックプライドの解釈

伊藤 香織

ウォーカブルな公共空間活用による新しい緑繋ぎの取り組み

中島 伸

地域の企業とまちづくり

許 伸江

ソーシャル・イノベーションとしての都市緑地のコモンス化

三浦 倫平

みどりの風景が繋ぐ地域とのかかわり

高木加津子

地域への想いを育てる場と仕組み

小柴 直樹

論文

広域連携のこれから

阿部 泰則

コミュニティガーデンにおいて組織に縛られず参加者の自由な活動が確保される条件

菊池 隆聖
堂免 隆浩

レジ袋有料化の過程と自治体

鈴木 洋昌

ミニパブリックス熟議の社会的受容性

辰巳 智行
中澤 高師

活動報告

世田谷ボランティアビンゴツアーで巡る地域活動

鈴木 景子

世田谷パン祭り実行委員会の活動報告

金子 愛実
川越 心晴
高橋 怜那
木原 菜桜
桑野 愛子

せたがや自治政策研究所

街づくりの目的

- 1 快適な都市環境の整備
- 2 コミュニティの体力向上
- 3 地域共生社会の実現

行政の心得

- 1 価値観の共有
- 2 支援の姿勢

住民の心得

- 1 行政計画の理解
- 2 街づくりへの協力



ご清聴ありがとうございました